第三千六百八十八號　（二）
新京日日新聞　（水曜日）　昭和八年四月五日　四日發行（日刊）
大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
夕刊
新京日日新聞
定價 一箇月 金一圓八十錢 郵税 一箇月 金三十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三二二五・三〇〇番
發行人 忠男 編輯人 松本啓二 印刷人 谷十郎

熱河に於ける國幣兌換好調
卅一日迄に五百萬元

熱河の經濟工作として最も注目されて居た熱河票の『回收』は、三月廿一日實施以來、當局の國幣宣傳の効果著しく、省民の中央財政に對する信頼と相俟つて非常な好成績裡に進捗し、過去十日間の承德に於る回收總額は四百八十五萬五千四百五十四元則ち約五百萬元に達して、而して卅一日の回收額は僅かに八萬一千元で、回收實施當初の回收額に比し、最近二三日來の兌換額は著しき漸減傾向を示しつつある實情より推測し、この分では、省民の熱河票私藏額は最早大半以上兌換されたものと見られ、兌換滿了期迄に於る兌換額は『政府』の豫想額よりも遙かに少く六七百萬元に終るのではないかと財政部では觀測して居る

滿鐵沿線に阿片制度施行
五日阿片委員會で決定

〔東京三日發國通〕拓務省では關東州同樣滿鐵沿線附屬地に阿片制度を施行するを適當と認め五日內務省に於ける阿片委員會で各委員の贊成を得可決されることともなつたので速かに內地に於ける手續き完了後愈々近く認可施行することに決定した

熱河省で國幣宣傳

滿洲國中央銀行では國幣宣傳のため國幣の効用を平易にといた五色のビラ十萬枚を印刷熱河省內各種の機關を通じて一般民衆に配布した、更に離宮を背景に中國美人が五角、十圓、一圓の各國幣を『結構です、國幣は安心して使へまして』と手渡してゐる極採色の美人畫二萬枚を印刷近く之が發送をなす事となつた

經濟統制連絡會議
內地と殖民地を結ぶ

〔東京二日發國通〕拓務省では殖民地資源開發具体案に基き綿花、羊毛、石油、三部門に分け官民合同の諸委員會を設置し調査研究を進める筈でこれと同時に內地、殖民地兩者間の經濟統制連絡の根本方針確立を緊急事とし右に就き四日午後三時拓務省官邸で上京中の朝鮮、臺灣、南洋廳、關東廳、樺太廳關係官の參集を求め意見の交換をなすに決定した、右會議の結果多分各殖民地別に拓務省直屬の調査委員會を設置の上具体的調査に着手するに至る模樣である

中央銀行の業績を放送

山成中銀副總裁は、四月五日午前十一時五分より最近の滿洲中央銀行の業績に就いて新京放送局中繼にて內地に講演放送を行ふ筈

失業救濟事業費
知識勞働兩階級に分つ

〔東京二日發國通〕昭和八年度失業救濟應急事業の豫算總額七百三十萬圓は議會を通過したので內務省社會局では目下關係各府縣並に公共團體の補助申請に基き配當割當額の審査中で近く決定、補助金交附の內通牒を發し更に今回の地方長官會議に於いても內相から應急事業の施行方針を指示して失業の防止救濟に萬全を期することとなつたが、右豫算內容は

一、一般勞働者失業救濟補助五百四十一萬圓
一、知識階級失業者補助百五十三萬圓

で、一般失業救濟の延べ人員は九百萬人、一日の就勞賃金一圓二十錢として一日平均三萬人を救濟し得る事となつて居り、又知識階級失業者の救濟延べ人員は百五十萬人、一日の賃金一圓二十錢、一日平均四千五百人を救濟し得る事となつてゐる

尚ほ從來は冬の季節を中心に事業を施行せしめたが、今回は四季を通じて普遍的に施行し得るに決定し、來る二十日頃から全國一齊に着工せしめる筈である

馬大洋の回收で
北滿の金融界安定

叛逆敗將の馬占山が滅び行く政權維持の資金獲得のため發行した個人的證券馬大洋は六十余萬圓の巨額に達して居たが、先般來滿洲國中央銀行にて回收中のところこの程回收を完了、北滿の金融界はこれが爲め一大安定を見る事となつた

二月の卸物價指數

〔東京二日發國通〕商工省調査によれば二月中の卸物價指數總平均は九五、四で前月より二分低落した

郵便貯金の趨勢

〔東京二日發國通〕郵便貯金は前月の趨勢依然やまず三月末預け人員三千九百八十四萬人、預け入れ金額二十六億八千六百八十萬圓で前月末より人員に於いて五萬人增加し金額に於いて千五百二十一萬圓減少してゐる

汎米航空會社
支那に進出

〔ワシントン一日發國通〕アラスカからアルゼンチンに至る南北兩米大陸の航空事業を壟斷する汎アメリカ航空會社は今回南京政府との協提に依つて歐亞航空公司と共に中國航空組織の二大系統を一つとなし米支合辦に依つて組織する中國航空公司の株式利權の一部を權承獲得した。これに依り汎アメリカ航空會社は國民政府と提携して中國の航空路開發に參畫し得ることになつて、次いで更にこれを契機として中國航空公司は米國の商業航空路事業に協力アラスカからベーリング海峽を越へてシベリア經由支那に至る航空路が開拓されるものと期待されてゐる

大藏省預金部が八年度運用計畫協議

〔東京二日發國通〕大藏省預金部では昭和八年度運用計畫を協議する爲、今月中に運用委員會を開く事となつてゐるが、協議に附議される事項は地方公共團体資金各種組合普通資金社會諸事業資金、農村振興に伴ふ資金農業土木事業資金などで右資金は約[illegible]てある

傷病兵內地歸還

新京衛戍病院に入院加療中なりし北滿駐屯の第〇、第〇〇〇隊所屬の傷病兵、浦島熊太郎上等兵難波直造一等兵以下五名は本三日午後十二時四十分新京發大連經由內地へ歸還した

熱河省事情〔六〕

工業

熱河省は開放後日なほ淺く而も殆ど匪禍にあつて開發遲々として進まない爲め、豐富な資源を擁し乍ら省內の工業は未だ原始の域を脫せず僅かに、家庭用の食用品工業、即ち釀造、製粉業乃至紡績、粗布の造製等殆んど手工業とも云ふべきもので、たゞ、工業と稱すべきものは、僅かに記の一二に過ぎない

朝陽縣工業
大興泉燒鍋（釀酒業）
所在地 熱河城南營子二條胡同
開設年月 民國十六年（昭和二年）
資本 現大洋三萬五千元
製出品 燒酒十九萬斤 各種露酒五千瓶
工人數 男二十三人

赤峰縣工業
赤峰電燈廠
所在地 赤峰縣五道街
開設年月 民國十五年八月
資本 現洋二十五萬元
工人數 二十三人

滿蒙興業公司（日本人經營）
所在地 赤峰縣頭道街
性質 日本官商合辦有限公司
資本金 二十萬圓
公定積立金 金一萬三千五百元
生產品 甜草膏子
年產額 八萬六千四百斤
生產價 十二萬九千六百圓
從事員 日本人二、漢人二十人（事變後操業休止）

五 產業

熱河省に於ける主要產業は農業・畜產業、鑛業の三である

農業

開墾の沿革 清朝は、建國以來の傳統として、蒙古に對しては滿洲と同じく封禁政策をとり、漢人の侵入を禁じたものであるが、それも時々の狀勢により幾分の變革があつた

東部內、蒙古開放地の內最も早く開墾されたのは、今の熱河省の喀喇沁及土默特地方で、その起源は今から約二百年前即ち清の雍正初年の事で、過去二百數十年間に於ける蒙古殖民實施策に最も力を注いだのは左記三期である

一、乾隆、嘉慶時代（百五十年前）

この時代にあつては清朝の蒙古懷柔政策は稍々その緒に就き、卓索圖盟及滿洲接壤地方の蒙古王は、清朝の威力に服し自ら貸地養民と稱して土地を提供し漢人招來を申出てたもので、昭烏達盟中翁牛特旗の一部を開放し、支那農民を送つた、赤峰縣に廳治を置いたのも此の時代である

二、光緒初時代（約五十年前）

露西亞の南侵急を告げる時で清朝政府は現在の興安南分省附近を開放した

三、光緒二十九年乃至同三十三年時代（約三十年前）

日露戰役前後にして、日露の勢力が南北滿洲から更に內蒙古方面に延びんとするを見て漢民族を此の地方に充實せんとし、昭烏達盟、卓索圖盟中の稍々肥沃な地域を蒙古王に迫つて開放せしめ、此地に漢人の移住を奬勵した、熱河省內の綏東縣、建平縣、阜新縣林西縣及開魯縣等に廳治を置いたのは此の時代である

斯くして熱河方面の蒙古地帶は、漢人の蠶食、開墾するところとなつた、現在各盟の可耕地に對する既墾地の割合は卓索圖盟十分の九、昭烏達盟十分の三と見られてゐる

怪人凱歌

（映畫化）須藤鐘一　（畫）澁秋方

（百八十四）

別莊（八）

最初のうち、鷗子は宮島が一人寢の淋しさに堪へかねて、離座敷から此方へやつて來るのだらうと思つたが、然し、すぐに其の想像はちがつてゐることに氣づいた。それは其の足音がいつもとはちがつてゐたからである。

はてな？ 宮島でなければ、ほかに誰れも今時分、此の廊下を歩く人はゐない筈であるのに。……暫らく又耳をすますより外はなかつた。

そのうち、ふと彼女は不思議な聯想を呼びおこした。それは、もう十五六年前に死別れた夏木恒夫の歩きぶりである。二三歩進んでは立ちどまり、又二三歩あるいては立ちどまる。

若し宮島ならば、いつも同じ歩調でしづ〳〵と近づいて來るのが常である。が、今の斷續的な足音は、ゆくりなくも其の昔、自分が行儀見習ひに行つてゐた秋元子爵家の人目多い邸內で、亡き愛人夏木と逢ひ引した頃のことを想ひ出させたのであつた。

けれども彼女の理性は、こゝへ其の故人がやつて來る筈のない事を十分認識してゐるのだ。――之れは自分の神經が餘程どうかしてゐるせゐだとは思ふのであるが、戰慄はそれにも拘はらず電流の如く全身を走る。

彼女は堪へがたい悪寒をさへ覺えて、遂に布團を頭から引つかぶつてしまつた。

暫らく齒をかみしめて、ぢつと戰慄をこらへてゐるうちに、身內がだん〳〵熱つくなり、まるで熱湯を浴びたやうに汗をかいた。眼前を無數の火花が跳ねかへり飛散り、ぐる〳〵と狂ひまはる。全身は燒かれるやうな高熱を發した。……

『おくさん。……奥さん……』

深い〳〵地の底からでも呼んでゐるやうに鷗子の耳に聞えた。彼女はかぶつてゐる布團を刎ねのけようとしたが、どうしたのか大盤石でも上から置き据ゑられたやうで身動きも出來ない。

『奥さん……奥さん……』

又呼ぶのが聞える。しかし、その聲は持ちもうけた宮島のそれではないらしい。

『おやすみですか？ おくさん……』

だん〳〵聲は大きくハツキリと聞えて來る。

鷗子はそれに何とか答へねばならぬと氣をあせるが、舌が強ばつて一言も口をきく事が出來ない。

『奥さん……鷗子さん、あなたはよもや昔の事をお忘れではないでせうね？』

今度は布團の中までも明瞭に通つた。

鷗子は口を動かしたが、やはり聲は出ない。そして其の呼び聲には何だか聞き覺えのあるやうな氣がしたので、更に耳を澄ました。

『たとひ十年二十年以前のことでも、あんなに恐ろしい罪を犯してゐながら、それを忘れられるものではありますまい』

斯う云ふ聲は、枕元にぢつと蹲つて布團の中を見透かすやうにしながら云つてゐるもの丶やうに感じられる。鷗子は顏を、頸を、腕にあてゝゐる手を、チクチクと其のまだ見ぬ人の鋭い視線で刺されるやうに感じた。

『人には良心がある。良心あるものはたとひ十年が百年たつても、罪の苛責を感じてゐる筈だ！』

その聲は、內に激しい怒りをぢつと堪えてゐるやうな、泥田に足を踏み入れたやうに人の心にもつれつく執拗さをもつて、怨むやうに、泣くやうに、彼女の耳に迫るのである。

鷗子は岩石の間にはさまれて生き埋めになつたやうに感じながらも、一生懸命に其の聲の主を思ひ出さうと努めた。

すると、それはどうしても夏木恒夫のやうである。……十年二十年たつても、あんな恐ろしい罪が忘れられるものではないといふ言葉、それは胸につきつけられた白刃よりも鋭く響いた。さう云はれると、此方にも何んとも返す言葉はないのだ。自責の念が洪水の如く胸をひたす。……

『……あなたは、あなたは、一たい何方です？……』

と、鷗子は苦しい息の下から、やつとこれだけ云つた。

敗慘の將湯玉麟 部隊整理に七轉八倒
喪家の犬の如き姿で各地流浪 歸るに家なき敗將

舊熱河軍の旅長張從雲、富春、石文華、董福亭、劉香九は敗慘の部下を率ゐて雪の曠野を西へ西へと熱河省外に流れ出で機會ある毎に匪賊と化し途々沿線住民に對し殘虐の限りを盡すので、熱河省民は熱河軍を蛇蝎の如く嫌惡し兵匪來の報あるや團結の力によつて之を反撃するので、熱河軍は休養するに處なく、喪家の犬の如き姿で流浪の旅を續けてゐる、湯玉麟は省境沽源に在つて憤慨焦慮しつゝこれ等部隊を整頓すべく努めてゐるが、果して幾何を集め得るや極めて疑問である

敗將湯玉麟が 反蔣報復の氣勢を擧ぐ

湯玉麟は去る三月二十八日我軍の攻撃に先立ち豐寧より沽源に退却したが、蔣介石が逮捕令を發した事を知り憤慨して反蔣報復の氣勢を示したものの、今更滿洲國に復歸も出來ず大いに焦慮してゐる、この間の消息を捉へた蔣介石は逮捕令を取消し僞勇軍として日本軍の後方攪亂に任ぜしめるに決し最近頻りに督勵電報を發してゐる

何柱國尙も 私かに逆襲を策す

〔山海關三日發國通〕石門寨を捨てて海陽鎭へ引上げた姚東藩（第百五師長）が何柱國に對し報告せる戰況報告中皇軍に關する部分の内容は左の如くその反省の實なきのみならず皇軍に對する侮辱態度は依然たるものがある

一、敵（皇軍を云ふ）を沙河寨までひきつけ一氣に之を撃滅せんとする我軍戰は美事に奏効し今一歩の所まで接近せるも敵飛行機の來襲に會ひ九仞の功を一簣に缺けり

二、石門寨の敵は混成數箇團に過ぎず然も後方連絡不備にて若し逆襲せんとするならば機會は今明日中なりと命令したし夜襲を試むべきも若し晝間の戰鬪ならば是非飛行機の援助を要す

三、山海關の敵は極めて少數なりこれが突破は易々たるも國際關係あり如何に命令すべきや

敗走支那兵 我が飛行機の威力に脅ゆ

〔山海關二日發國通〕海陽鎭から撫寧に到る街道は昨夜來石門寨から敗走せる支那軍によつて埋められてゐるが、敗走兵の大部は北戴河に遁入した彼等は地方民に對し、口々に日本軍の威力と日本飛行機の活躍には齒が立たぬと身震ひしながら語つてゐる

直田部隊 山海關歸還

〔山海關三日發國通〕〇〇〇攻撃の先陣を承り、美事にその任務を果した直田部隊（砂川ヶ隊所屬）は三日午前未明〇〇出發山海關への強行軍を開始し、途中附近陣地の支那軍を降伏せしめつゝ午後三時廿分日滿官民の熱誠なる歡迎裡に歸還し、期せずして〇〇〇山海關の直接連絡を完成した

灤州附近の 支那軍集結狀況

〔山海關二日發國通〕昨秋某方面より來れるものゝ談によれば支那側は第五十九團軍司令部を灤州に置きその附近に左の如き兵力を集結してゐる

撫寧一帶、第百十五師第六百四十三團、騎兵百〇三師の三十九團
臺頭營附近、第十六師、第百十九師、第百二十師

岩田部隊 戰死傷者

〔〇〇二日發國通〕〇〇〇邀撃に奮戰せる岩田部隊の戰死傷者は戰死一、負傷者十三名でその氏名左の如し

戰死者　一等兵　加賀米吉
戰傷者　一等兵　太田豐光
同　中島善三郎
同　志村源一郎
二等兵　中村健次郎
同　工藤富太郎
同　峰方勝衞
同　前田宗五郎

外、靖安遊撃隊の負傷二名、其他四名である

反何應欽空氣に乘じ 孫傳芳暗中飛躍

〔天津三日發國通〕何應欽の峻烈なる雜軍整理により北方將領は悲憤の淚にくれてゐるが、已に何のために先手を打たれた雜軍及舊東北軍は身動きもならぬ窮地に追込まれてゐるので今具体化した行動に出で得ないが、此の空氣を察した策士孫傳芳は歸復渠の下にある石友三と結んで失意の將領間に暗中飛躍をなし縱橫の策を逞らしつゝある

蔣の馮抱込運動 全く絶望となる

〔奉天三日發國通〕蔣介石の馮玉祥抱込み運動は益々猛烈となり、最近馮に對し西北軍總指揮を與へたが拒絶され、又河北全軍司令もあつさり拒絶されたが、蔣と馮との抗日手段に相違あり、何れまた戰場に於て相見えんと馮は蔣に回答した

汪精衞獨乙顧問 廿名を招聘

〔上海三日發國通〕汪精衞は過般獨乙より歸國の際獨乙人軍事顧問二十名を招聘し歸國した事が判明した

湯玉麟 蔣介石に無心

〔奉天四日發國通〕湯玉麟は目下張家口、沽源附近に約二萬三千の兵を集結してゐるが蔣介石に對し至急彈藥及び糧秣を送れば直ちに承德を奪回すべしと電請した

長城の各要地 一時的占據已を得ず
但し支那軍の出樣で

〔山海關三日發國通〕我軍の石門、占據の爲め山海關第一線の支那軍は何れも秦皇島に一部を殘して後退した、我軍としては支那軍の出樣一つで古北口、界嶺口、冷口等の長城線の要地を一時的に占據するも已むなしと觀してゐる

龍口方面で激戰か 親滿軍龍口に向ふ

〔山海關三日發國通〕石門に在つた鄭桂林軍約三千名は龍口に於て片つ端から民家を掠奪して居るが、親滿義勇軍〇〇名は同地方に向つて行動を開始して居るので、今夜頃或は猛烈な肉彈戰が展開されるかも圖り難い形勢にある

皇軍の前進休止に 逆襲を企む支那軍

〔山海關三日發國通〕一度海陽鎭方面に集結、更に西退するかと思はれた石門附近の敗兵は皇軍の追擊なきと山海關正面の皇軍が引續き冷靜なるに安心して足を止めたのみならず後方と督戰隊に刺戟されて再び原陣地への配備を急ぎ石河右岸は昨夜を以て從前通りの配備を終り石門方面も同地南方約三里の地點に駐屯する第二線は後方部隊の來着を待つて却つて逆襲を試みんとする形勢となつた

駐日公使は 丁士源氏か

〔東京二日發國通〕滿洲國の國際聯盟特派使節丁士源氏は歸國の途次東京へ立寄り日本朝野方面と種々折衝中であつたが四月一日午後外務省に內田外相と會見し意見の交換を行ふところがあつたが、右に關し一部では、之によつて滿洲國駐日公使の椅子は丁士源氏に略內定したのではないかと傳へられてゐる、因に丁氏は二三日中に離京の豫定

丁氏の駐日公使說 まだ決定せず

丁士源氏の駐日公使內定說に關し滿洲國外交部側では丁氏と內田外相との會見に於て駐日公使問題に關する意見の交換か行はれたかも知れぬが、それは全然非公式のもので滿洲國政府としては未だ何人を駐日公使とするか決定してゐない

獨逸、駐米大使任命

〔ベルリン一日發國通〕大統領は前獨逸國立銀行總裁ルーテル氏を駐米大使に任命した

首相英米大使を招待 脫退後の問題を懇談

〔東京二日發國通〕齋藤首相は五日夜官邸に英國大使リンドレー氏を、十三日夜は米大使フオーブス氏を招き、晚餐會を催し席上聯盟脫退後の各種問題につき懇談するものと見らる

チ印度總督逝去

〔ロンドン二日發國通〕印度總督チエルムスフオードは二日逝去した、卿は享年六十五才にして、卿は印度統治法の基礎となつたモンタージユ、チエルムスフオード案の起草者として有名である

けふの銀相場

鈔票　金票　九九四〇
大洋　金票　九五〇
國幣　金票　九二〇
大洋　鈔票　九六九二

南洋委任統治に關し 帝國政府公式聲明を發せん

〔東京二日發國通〕聯盟脫退に伴ひ南洋委任統治に關し帝國の統治に何等かの變化を來すが如き說をなすものあるに鑑み帝國政府は之を放置せば統治上に惡影響ありとし我が決意の不拔たる旨を聲明すべく來る四日松田南洋長官より發することゝなつたが、聯盟脫退後南洋に關する最初の公式聲明として重大視されてゐる

松岡代表と ビツトマン 銀價恢復案を協定

〔ワシントン一日發國通〕當地着以來ルーズヴエルト大統領、國務長官ハル氏等の米政府首腦者と會見した松岡代表は、一日はワシントン出發を前に國務次官モレー氏下院議長レーニ氏、下院外交委員長マツクレー氏、上院共和黨領袖ボラー氏、下院民主黨領袖バーズラ氏等米國政界有力者と會見し、日支問題に關する帝國の公正な立場を力說した就中上院議長代理ピツトマンとは大いに話がはづみ對談實に二時間、日支問題から銀問題、物價引上策等につき隔意なき懇談を遂げた、會見後松岡代表は語る

ピツトマン君とは銀價恢復案を取極めたが兎に角有益な會見であつた

松岡全權 華府を出發

〔ワシントン一日發國通〕松岡代表は一日午後十一時出淵大使、大使館員、米國人多數の見送りをうけシカゴに向け出發したシカゴ着は二日午後五時の豫定で同夜八時放送し三日夜シカゴ發デトロイトに向ひ同地でフオード自動車王と會見一旦シカゴに引返しオレゴン州のニユージーンに向ひオレゴン大學から學位を受け四月十三日淺間丸で桑港發二十七日橫濱に到着の豫定である

松岡全權 シカゴ着

〔シカゴ二日發國通〕松岡代表一行は武藤領事その他在留民の出迎へを受け二日午後五時半シカゴに到着、直ちにドレーム、ホテルに入つた、八時四十五分より九時までナシヨナル放送會社から再び全米に呼びかけ我等は米國と同樣世界に對し多くの善事を行つて居る、滿洲に於て我等が爲つて居る事も米國では、多くの誤解があるが、我等は滿洲國三千萬の民衆に對して善事を行つて居るとて、歷史的に見た滿洲國の實狀と、日本の抱負を卒直に傳へた

東鐵を繞る蘇滿紛爭 外交問題化す
森田交通部司長談

トランジツト問題を中心とし東鐵を繞ぐる蘇滿紛爭に關し東鐵新理事クズネツオフ氏と再三會見交涉を重ねた森田交通部司長は局地交涉何等の進捗を見ず更に具体的對蘇策確立の必要に立ち至つたので交涉經過報告の爲め歸任したが交涉經過に就いて左の如く語つた

一、ソビエツトの極東經濟政策の一端である所謂トランジツト問題即ち歐洲向け特產をシベリア鐵道經由一方的に不法にも通過貨物の形式を以つて續行せしめて居る問題に關しソビエツト側は三年前口頭により許可を得て從來行つて來た事であると云ひ何等東鐵に惡影響なく却つて世界交通に便があると稱して居るが斯くの如き口頭の片言は滿洲國の意思表示とは何等關係なきものであり、ソビエツト側が經濟政策推進上東鐵の利用を必要とするならば正式に滿洲國と連絡協定の交涉を爲せばよいのであつて不法なる行動の繼續に對しては我等としてはその防止を爲すのみである

二、東鐵の貨車及びデカポツト型機關車の不法引き込み問題はソビエツト側が滿洲事件の混亂に混れて引込みを始めてから蘇炳文のソビエツト領遁入に際して引き込んだものを合して貨車二千八百輛優秀機關車九十二輛に上つて居るがこれに就きソビエツト側は機關車所有權はクレンスキー時代の既得權によるものとなして居るが革命政府に此の言を聞くは皮肉で何等合法的根據はない又荷造りの都合上貨車の滯留する事はよくある事だと云つて居るが荷降ろし濟みたる沛濟に滯留して居る事は云ひ譯けにはならない我等は即時返還を要求して居る

三、尙八區埠頭問題に對しては字句の解釋問題で行き惱んで居るが四日更に交涉を續ける筈である

要するに局地交涉は上述の如く行きつまり問題は蘇滿兩國の外交問題と化するに至つた

東支鐵道問題を中心に 具体的對策を考究

〔ハルビン三日發國通〕東支鐵道督辦李紹庚同副理事長クズネツオフの兩氏は森田交通部司長を北滿ホテルに訪問し八區の埠頭問題及びさきに露國側が一方的に露領に持去つた東支鐵道の機關車の返還方につき商議する所あつたが右につきクズネツオフ副理事長は露領に持去つた機關車は露國の財產なるを以て之れが返還は不可能だと述べ更に露領に持去つた貨車はこれを返還するに吝なるものでなく若し貨車の返還が遲延せる際は罰金の意味で一日一貨車に對し三金留を支拂ふも異議なしと多少の誠意を披瀝したがトランジツト問題に就いてはク副理事長は本國政府よりまだ何等の訓令に接してゐないと確答を避けたので森田司長は兩國側との交涉經過を報告のため歸任の上再び竿頭一步を進めて具体的對露策を講ずる事となつた

齊藤首相は 適當時に桂冠
園公訪問の情勢

〔東京三日發國通〕齋藤總理の園公訪問は今後の政局に重大な關係を齎すものとして重視されたか齋藤總理は園公訪問後死ぬる時局に『善處』すると稱してゐるが、右は政界をカモフラージユせんとの意圖であつた事實總理の心境はこれと反對で當面問題に關する議會の始末五、一五事件の一段落後豫算編成前にきつかけをつくり、桂冠せんとの意思には變りなく、西園寺公も齋藤首相辭任後何人を後繼者となすかに就いて今のところ見極めがつかないので、當分引留の適當な時期に引退させんとする方針と見られ二日の會見でも右の意味を傳へたと信ぜられる、然し高橋藏相の辭意は固く齋藤總理は一蓮託生で行くからと慰留してゐるが高橋藏相は近々掛冠すれば兎も角當分居据るなら鈴木總裁との口約を重んじ單獨辭任も已むを得ずと齋藤總理に傳へて居り『政府』も單獨辭任を認めて他と入れ更へて延命策を計るものある狀態である、尙高橋藏相が辭任すれば三土鐵相、鳩山文相も見殺しにせざるべく一方小山法相も三十一日の總理との會見に於いて不祥事件の責を負ふて辭意を述べたるは明白であり、五、一五事件司法官の赤化問題の一段落後進退すべくその結果は山本內相、鳩山文相も晏如たり得ず從つて齋藤總理は近く各閣僚と會見し園公との訪問結果を傳へ更に『慰留』して當分居据りを策さんが、齋藤總理も非常時局の擔當に就き自信なき故近く情勢見定め適當な時期に掛冠するものと觀測されてゐる

首相歸京

〔東京三日發國通〕齋藤總理は二日午後四時五十分東京驛着歸京し直ちに私邸に入り堀切長官と懇談する所あつた

民政黨は 現內閣を支持邁進

〔東京二日發國通〕民政黨幹部會は齋藤首相の園公訪問の結果につき左の觀測を下してゐる

首相は主として聯盟脫退、議會終了を報告し、政治問題については恐らく今後益々責任の重大に鑑み全力を擧げて努力すべきを決意し」園公の諒解を求め、園公も之を諒として首相の自重を希望したと思はれる、而して此結果政局に對する不安流說も漸次一掃されると信じてゐる、尙首相が來議會も無事乘切りの見極めつかぬ場合には解散を斷行し、政局打開の途を講ずる決心かつくかどうかは問題であるが何れにせよ、民政黨は此際一切の策動を戒め、正々堂々現內閣を支持して邁進することにしてゐる、尙此等については、非公式に黨の立場、議會に於ける行動等をも報告、諒解を得る爲め松田幹事長は近く園公訪問する筈

政友は依然 政變來を待望

〔東京二日發國通〕齋藤首相の園公との會見につき政友會では左の觀測を下してゐる

會談內容は豫想通りに過ぎぬであらう、首相の談話はたゞ現在を語るのみで將來の新經綸抱負を示してゐない、眞に重大時局多端の熱意と抱負を有するなら、單に議會の後始末を云々するのみでは濟まない筈である

此點自から現內閣の無力を語り、政局歸趨を暗示してゐる、と解するとやかく云はれたが、も今議會で現內閣が以上の成績を擧げたのも政友會の背景あつて初めて成し遂げたものである、政府は既に全力を出し盡し今後爲すべき何物も所有せぬ、公平に見て現內閣存在の理由は消失し居り、功成り名遂げたものは去るが順序で首相の園公會談に見るもその裏にかゝる空氣を明瞭に示してゐると見るのは敢へて政友會の我田引水的見解でなく妥當公平なる觀測である、今や政府は一意議會後の殘務整理を急ぎ圓滿な政局の拾收を期してゐると解釋してゐる

國民同盟の觀測

〔東京三日發國通〕國民同盟では齋藤首相今次の園公訪問をもつて內閣總辭職の前提と見做し、今後の首相の言動を中心として政局の推移を極めて『重視』してゐる、即ち今回の首相の園公訪問は聯盟脫退と議會經過の報告及び今後の政局に處すべき首相の所信と之に對する眞意探究が、目的であらうが言ふまでもなく未曾有の大豫算施行後の財政經濟善後處理及び聯盟脫退後の外交方針確立、五、一五事件の後始末等今後の政局に處する政府の責任は極めて重大である、然るに現內閣にはこの時局收拾の熱意と能力なく幾多國民の期待を裏切つた施政の實績が之を明かに裏書きしてゐる、加之政府與黨たる政民兩黨協力の實は漸次破れつゝあり、政友會は徒らに政權待望主義に直進してゐるに對し民政黨はあくまで現內閣延長主義を主張し、內閣不統一の表面化は今や全く時期の問題となつた、又一方現內閣の柱石とも見られる藏相の單獨辭意抱懷については一蓮托生の名に於て過半來首相が極力慰留勸告に努めてゐるが既に辭意を有する藏相に來年度豫算編成の『誠意』なきは明白であり、その他閣僚の惰氣滿々たる近來の態度は到底非常時局擔任の重責を果し得ず、結局首相今次の園公訪問は結果に於て內閣倒潰の前提と斷じ得るとなしてゐる

貴院の動向と 現內閣の觀測

〔東京三日發國通〕齋藤首相の園公訪問と今後の政局關係につき貴院各派有力筋は大體左の如く觀てゐる、即ち議會後首相の元老訪問は近來の一つの例となつて居り、何れの內閣でも議會の模樣を報告說明し通過した豫算案並に諸法律を施行して立法の目的に副ふ樣大いに努力して行くことを元老に述べるものである然し今回の首相の場合は內閣の形態が政黨內閣のそれと異り又議會後の政變が各方面から云爲されて居り且又內閣の大黑柱たる藏相に熱意が認められず首相はじめ內閣全體が何となく緊張を缺いて居る際だから普通の議會報告の訪問とは些か趣を異にするものがある、殊に首相、藏相等は政權が政黨內閣に復歸することを希望して居るが、しかしそれには政黨の信用恢復には現在の如き時機の到來を希望する、と述べてゐる點等からも觀ても豫算編成期前に五、一五事件の後始末を爲し適當な掛冠期を狙ふ可く從つて政友會や國同の希望するが如く急速な政變は無かる可く、又民政の熱望する程內閣の運命が永持ちするものとも思はれない

熱河物資補給に 第一回の輸送隊出發

〔錦州二日發國通〕熱河省內は支那兵の掠奪と平津地方との交通杜絶により物資の缺乏甚だしく、省民は之か苦難に晒らされてゐるので、國務院錦州辦事處では中央部と諮つて物資の輸送に努力してゐるか、今度約二十萬元の豫算を編成し定期的に物資の補給を圖る事となり、第一回輸送隊は本日三十二臺のトラツクを以て錦州を出發したが、途中北票にてメリケン粉、砂糖、雜貨等の生活必需品を搭載四日承德に向ふ豫定

春衣裳も輕やかに 陽炎ゆらぐ戶外へ

きのふ新京驛の乘降客は 一萬六千百〇三人

二日間の樂しいお休みに、パパママの間にぶら下つた家族づれ若い嬉しさうなカツプル職業婦人らしい一團學生等々は永い寒さの間に煤煙に濁つた心臟を洗ひ淸めるべく一齊に陽炎ゆらぐ戶外へ戶外へとオーバからスプリングへ春衣裳も輕やかに行進をおこす、空はくつきりと晴れ渡り、春風は袂をなびかせ、陽光は背中をほどよく溫める、春だく／＼ソフトをアミダに被つたダンディー连の口からはひとりでにトロツトのリズムが轉げ出る春は都會人士の胸にさゝやきかける、一日の土曜日から三日まづ新京驛でこれら明春に躍る群集を呑吐した數は乘車六千九百六十二名、降車九千百四十一名で、實に本年の記錄、殊に沿線各地より新京競馬に來た人は非常なものであつた

横領店員 訴へらる

市內吉野町二丁目廿六番地横田洋服店店員松村市郞(二三)は洋服集金代百十圓を横領し去

は場內に殺倒し非常な盛況振りを見せた

認識を深めに 日本學生團來京

先發の教授連着京

目下各方面と協議打合せ中

夏期休暇を利用して日本全國の大學專門學校の學生一千名を選拔し、これに指導教授五十余名、配屬將校數十名其他を配し合計千二百名渡滿一ケ月間各學生の專門により視察、研究を行ひ正しき滿洲を把握せしめる目的の下に設立されつゝある滿洲總產業建設學徒動員計畫は、山本忠興博士外數氏と關東軍特務部との間に準備が進められてゐたが、來京中の計畫委員東大教授戶田貞三、同末松直次農大教授住江金三、早大教授堤秀夫、同配屬將校富永中佐の五氏を愛國旅館に訪へば、往訪の記者に戶田、末松兩教授は交々語る

十日頃まで滿洲に滯在してこの夏學生の行く原地調査、關東軍、關東廳、滿鐵、滿洲國政府等と打合せたいと思つてゐる、四月下旬にはこの大計畫を全國各學校に

＝發表＝

する、外務拓務の各省では非常に乘氣で後援は惜まないので心强い、學徒の目的は滿洲に對する理解親善、滿洲國建後事業の認識、將來飛躍を遂げる準備智識の修得、日滿學徒の協和交驩等で、參加學生の詮衡は校長に一、原則として卒業期にあるものを選びたり經費は約十八萬圓、參加團員の負擔は一人前一ケ月間五十圓と云ふ少數である、七月中旬東京及び大阪より乘船大連に上陸し、各專門毎に約十名の分隊に分れ、現地踏査の上八月下旬大阪で

＝解散＝

の豫定です今回の參加學生は農業方面の學生に主眼を置き經濟商科、醫科等も居ります

戰傷兵來京

四日正午吉林から着する列車で戰傷兵十名、同午後四時着列車で三名到着新京衞戍病院に收容さる

在滿同胞が贈つた 愛國號完成す

七日奉天着大連で獻納式後 各地へ感謝飛行

在滿同胞獻納に據る飛行機愛國號五機は近藤航空少佐指揮の下に二編隊にて四月五日所澤出發、八日市、太刀洗、京城を經て七日午後一時奉天到着八日午前九時奉天より一路大連に向ふ、十一日午前十時を行ひ關東軍よりは小磯參謀長出席の筈である、なほ日を改めて滿洲各地を感謝飛行の豫定である

春競馬 第三日目 人氣湧く

春競馬大會は一日以來絕好の競馬日和に惠まれ競馬ファン

母國見學 高女生旅行記

第二信

浦元瀰壽子　下岸幸枝

奉天より釜山まで二晝夜乘つた汽車と思へば何だか名殘り惜しい、下車して點呼波止場に急ぐ、悠然と横はる景福丸を見てすつかり嬉しくなつた、九時三十分出帆までの隙をにぎやかな灯に誘はれて散步に行く、夜の港の街は美しいもの、南鮮とはいへ港の風は寒い、一刻も早く乘りたいが定刻までは乘せてくれない、乘客はだん／＼ふえて埠頭を埋めてしまふ、こんなに澤山乘つて船が沈まないかと心配する、それよりも私達の座席の方が尙心配だ、八時三十分一番先に乘船を案內せられて一安心、然し座席は相當窮屈なものであつた、魚を串さしたやうに二列に並ぶ全く身動きも出來ない、船には不馴な者ばかりそれに天候多少荒模樣なので出帆前からお行儀よく寢る、今にKさんの聲も聞えない、ガタンヅル／＼ゴトン瓶が倒れる荷物が落ちる枕に着いてもヅル／＼と下る暫くするとヅル／＼と元の位置に返る、他の乘客が私供が列をなして仲よく亡るので笑つてゐたが仲々笑ふ所でない然し先生の御命令で絕對に頭を上げられない、一晩中亡り通しであつたが翌朝は皆元氣に飛起きた。

廿八日朝七時下關着始めて母國に印する第一步だがゆつくりする隙もなく七時十五分關門聯絡船で門司に向ふ、ビユーローの方から關門の地勢等の御話を聞いたりしてゐる間に門司に着く、海岸近く聳えた山の麓にコセ／＼立ち並んだ家々を物珍しく見る、すぐ別府行の列車にのる、門司驛の雜沓には大陸より來た私には驚かざるを得ない、人々が目の色をかへて小走りに步む物賣がおもちや限りの聲で辨當ミカンリンゴといふかと思ふ女の人が裾をからげて籠をかついで賣步いて居る混雜する列車目がけて我遲じと老若男女が走つてゐる、カラン／＼コロン／＼つい私達も目の色を變へてキヨロ／＼見廻す、八時三十分發車沿道の風光を愛でつゝ朝食をいただく蜜柑が鈴なりになつた木を見つけて皆が車窓にしかみつく椿と聞いては又立ち上る「アラそちらばかり眺めて駄目よこちらをご覽」眺むれば紺碧の海、向ふに聳ゆる綠山、窓下を流れる淸い小川、目に映ずるもの凡て珍しい、あまり騷ぐので隣合の叔父さんからどこと聞かれ新京と答へて又滿洲の話がはずむ。中津過ぎ宇佐過ぎ杵築去り午後零時二分別府着、多數の市の方々や知合の方々新聞社の方々の御迎を受パスで北濱海岸の眺めのよい花菱旅館に着く、三時より地獄廻り三日間の强行軍に一人の落伍者なく殘なく參加の元氣ぶり、バスガールの詳細な說明を聞きつゝ美しい風景に見とれて八幡地獄、坊主地獄、海地獄と廻る、海地獄の物凄さに驚く、血の池地獄も珍しい、硫分を含んで居ることゝ世界一だなうだ、夕食後暫く自由散步、八時より市主催歡迎會が催されて一同恐縮、小學生の舞踊別府民謠など聞いて全く湯の街の氣分に浸る、私達も答禮として二つ三つ滿洲のものを紹介し茲に新京市と別府市の一交歡會が催されたことになつた

別府よいとこ、湯の湧くところソリヤ湧くところ、住むに心地のよいところ、ソヂヤ／＼よいところ。前に高崎うしろに鶴見由布は見えぬか溫泉の煙

（神戶にて）

新京總領事館異動

新京總領事館在勤藏本書記生の後任有吉直忠書記生は四日朝着任した、尙沼書記生は今回シヤトル總領事館勤務を命ぜられたが、事務引繼其他都合で來月中旬に出發赴任の豫定である

先に南京總領事館へ轉じた

三日家人が發見し新京署に屆出た

矢澤新京中學校長 五日鳩で着京

新京中學校長兼教諭矢澤邦彥氏は五日午後七時五十分着列車で撫順より來着するが舍宅の都合で單身來任の筈

苦力既に 一七四七名來京

國都建設事業及土建界の活況に伴ひ殆ど到着列車毎に三十名、五十名の苦力が着京してゐるが四月一日より四日朝までの累計は既に一千七百四十七名に達し、目下續々來京してゐる、本年は約三萬五千人位の需要はあるものと見られ新京始つて以來のレコードとなるであらう

浦邊上等兵遺骨

新京衞戍病院にて死亡せし步兵第〇〇〇隊第〇機關銃隊上等兵浦邊貞雄氏の遺骨は本三日午前八時四十分新京驛告別式のためハルビン原隊へ送られた

大通線徒步連絡

大通線新立屯、方山鎭間橋梁修理の爲四日より十一日までの八日間同區間は徒步連絡とし、手小荷物の取扱を中止した

滿洲事變慰靈大祭 廿七日に擧行

軍司令部主催の下に

四月下旬東京で滿洲事變死歿者臨時大祭を擧行せられ四月二十七日には畏くも御親拜あらせらるゝを以て此日をトし關東軍主催の下に同事變關係死歿者慰靈大祭を新京で擧行される其詳細は左の如くである

一、祭祀範圍（滿洲事變（上海事件を含ます）關係者のみ

一、陸海軍戰病死者（既に歸還せる部隊を含む）

二、關東廳、領事館、滿鐵の事變關係死歿者

三、在滿日本人の事變關係死歿者　殉職者のみとし婦人を含む

一、典參列者

一、遺族（在滿者のみ）

二、第三項範圍の關係者

三、在新京日本軍隊、官衙學校、各團体全員

四、新京以外各部隊の代表者（各階級を網羅する如くす）

五、滿洲各地時局後援會、在鄕軍人分會、審訓、日本側男女中等學校以上の各代表者

一、來賓

一、陸海軍代表

二、朝鮮總督府代表

三、滿洲國政府日滿要人

四、各市長（奉天、新京、哈爾賓、齊々哈爾、安東、吉林）

五、新京商務會長、教育會長、農務會長、律師公會長

一、祭典實施場所

新京野球グラウンド

一、祭典實施要領

祭典は午後十時より神式により崇嚴に實施す

一、記念品頒與

一、遺族(全員)

供物頒與

軍司令官の書記念繪葉書三枚一組とし其內容は滿洲事變發端、主要戰場、本庄武藤軍司令官寫眞、靖國神社等とす

記念メダル

二、來賓及參列者

記念繪葉書

記念メダル

一、餘興

祭典當日正午より午後三時迄西公園に於て華美に且らざる餘興を行ひ一般の觀覽に供す餘興は各團体及民間よりの奉納による

餘興の種類

武道大會（劍術、大弓）

支那奇術

活動寫眞

煙火

角力

劍舞

一、委員の編成

一、準備委員

委員長　參謀副長

委員

陸軍側

軍司令部七、第一課參謀、第四課參謀(二)、副官部一、管理部一、經理部一、獸醫部一、

警備隊一

各代表者

憲兵隊　一

駐滿海軍部　一

滿鐵地方事務所　二

大使館　二

領事館　二

關東廳　二

警察署　一

商工會議所　一

地方委員會　二

在鄕軍人分會　一

區長總代　一

新京教育會代表　一

滿洲國政府　一

協和會　二

居留民會　一

二、大祭委員　別表

二、經費　別に研究す

三、動物慰靈祭

祭典直後事變に殉せる動物（馬、鳩、軍用犬）等の慰靈祭を行ふ

女子藥專が 配屬將校派遣を決議

非常時日本の護りへ

〔大阪三日發國通〕非常時日本の現狀に鑑み大阪府南河郡にある帝國女子藥學專門學校では全國最初の女子學校への配屬將校の派遣を一日同校理事者會で決定、二日第四師團司令部を通じ陸軍省へ上申したが多分實現するものと觀られて居る

されるさうで詳細の事は同局で承合わりたいと

寄附電話の 受付開始さる

豫納金は二百五十圓

新京郵便局は四月十日から十五日迄電話の寄附開申請を受附ける、一口金二百五十圓の豫納を要し申請者多數ある時は抽籤若くは審査によつて受理不受理を決定する尙受理決定後でも不實の申請をなし審査を誤らしめたものは取消

拉致された 英人の一人

脅迫狀を持參 送還さる

〔大連四日發國通〕海賊團に拉致された英人四名中ピアース氏は昨日送還されたが大要左の如き手紙を持參した

匪賊は輕機關銃百、彈丸五十萬發、ドイツ式拳銃白二十挺彈丸一萬發、重迫擊砲二十門彈丸五千發銀百萬元を要求し十日以內に持參せねば他の三名を銃殺すると脅迫し、又〇〇が東三省をして田庄臺に〇〇を入れ耕作させた故我々は匪賊となつたといふ意味を含めた文句で結んでゐる

天勝の魔奇術 いよ／＼今夜公開

レビユーとジヤス舞踊など 盛澤山な今夜のプロ

長春座の舞台に春を謳歌して跳舞する天勝を始め藤村梧朗明石須磨子を中心の大一座は四日午前八時の列車で新京驛着、興行關係者の出迎へを受け華々しく長春座に乘込みを終り、直ちに

＝挨拶＝

廻りや長春から新京と變りすばらしい勢をもつて發展膨脹しつゝある噂てお馴染の市中見物に押出す連中など大賑ひであつた今日の本紙で讀者の手元に配達される頃は初日の蓋をあけてゐる頃である、精選されたプログラム洗練された一行の演出は觀衆を完全に魅了せずには置かぬであらう、前景氣がすばらしく、沸き返り團体觀覽の申込みが夥しく、兩夜だけでは入場出來ぬ形勢で特に五日は晝夜開演することに變更調節をはかることゝなつた、本紙讀者

＝優待＝

の特等一圓五十錢を一圓に一等一圓三十錢を八十錢に割引券は三日附本紙に折込み洩れなく配達せしめたが尙今夜も追加してあるこの割引券は五日晝間興行にも有効であるから利用されたい

早大大勝 對朝日野球

12—1

〔東京三日發國通〕ハワイ朝日對早大第二回戰は三時半明治神宮球場にて早大先攻開始され結局十二對一で早大勝つ、閉戰五時十二分

滿鐵廿五年 勤續者表彰

四月一日の滿鐵創立記念日に當り二十五年恪勤精勵者の表彰を大連滿鐵本社で行つたが新京よりは次の四氏が表彰され各金杯一個を授與された

新京鐵道事務所　佐野新作

新京機關區　山本公太郞

新京保線區　西野勇吉

同　宮原喜代次

△十五年勤續者

地方事務所關係事務員　北野安太郞

阪東繁次郞

全新京敗る

對湯淺ア式蹴球戰

5—0

三日午後四時三十分より湯淺蓄電チーム對全新京のオープンスポーツのトツプを飾る蹴球戰は西公園トラツクに於て大連より悠々來京した三吉(主審)山本、齊藤(線審)三氏審判の下に擧行された、久方ぶりの蹴球戰の事とて觀衆はトラツクを埋め、先づ体育協會新京支部長代理黨常務理事一場の挨拶をなし、終つて日滿兩チーム仲好く記念のカメラに收り、戰の幕は切つて落された、來滿以來大連青年會滿鐵、陸華と連續的に對戰、加ふるに長途の旅に前半は幾分の疲れを見せた湯淺に新進全新京何處まで肉迫するか、興味が繫がれたが、前半になつて俄然本來の老巧ぶりを發揮し、殊にFWとHBの好連絡FBの長蹴、GKの好守は新銳全新京に得點を許さず5―0で惜くも淚をのんだ

湯淺 $\left\{\begin{matrix}1—0\\4—0\end{matrix}\right\}$ 全新京

湯淺に比し全新京は生れたばかりで練習不足の點はあらうが、FW HBの不連絡及球をコントロール出來なかつた爲湯淺の乘ずる處となり敗北をしたが、この日本的チームを相手に此處まで戰つた事は慥に成功で、練習如何によつては滿洲の覇權を握るのも難くはなからう

湯淺

	FW	HB	FB	GK
湯淺	柳沢 高東 野田 槍吉 川	冬勝 山 鎌	地部 宮 阿	渡邊
全新京	常 徳 書 恒 李 劉 李	齡 瑞 元 李 森	海 文 俊 克 陶 千	慶 福 張 王	眞 青 徳 天 劉

なほ午後七時より寶宴樓で會長鄭國務總理、許文教部次長西山總務司長、陳禮教司長等出席湯淺チームの歡迎會を開催した

同仁醫院 鈴木氏が經營

新京富士町同仁醫院主市橋貞三氏は約三ケ年の豫定で奉天醫大研究に赴くので瓦房店滿鐵醫院を辭した鈴木誠一氏が其間同醫院の經營を引受けたので四日各方面を挨拶に歷訪した

前橋の火事

〔前橋三日發國通〕三日午前四時半前橋市榎町鳥料理一カ分店より發火して十八戶全燒半燒數戶を出した、原因は目下取調中だが損害は數萬圓に達する模樣である

日大の紛議 益々激化

〔東京三日發國通〕日本大學の紛擾は愈々激化し、平沼總長、鈴木、水野兩理事の辭任に依り表面化したが昨二日は山岡學長反對派の日大改革同志會では山澤氏以下川口義久加納金助等の各理事を公金橫領費消の廉で東京地方裁判所檢事局に訴訟提起することになつた

幕末異聞

愛慾火箭(あいよくひや)

作　瀧川駿
畫　村瀬洗舟
(上演上映禁)

(二十)

白骨(六)

刑部の顔色には、まるで生氣がなく土色に變つてゐた。

薄暗いお谷庫から、少將公は若狹を引連れて出て行つてしまつた。

黴臭い濕氣の籠つた庫の中に刑部は一人、物の怪のやうに突立つてゐた。

置き晒しにされた六郎と、隼人の白骨が、薄暗の中で無氣味に白く光つて見えた。

怖る怖るその白骨の側へ近寄つて行つた。そして今六郎の骨に手を着けんとした時、背後の扉がすうつと開いた。

ぎよつとなつて、刑部は振り返つて見た。

黒い影、影、人影があつた。

覆面をした忍び姿の武士だつた。その男は影のやうに、刑部に迫つて來た。

『父上』

件の男の口から、こんな聲が洩れた。

『圭介!』

何とも言へぬ嬉しさに、刑部の聲は上ずつてゐた。

『今日こそ父上のお首を頂きに上りました』

圭介は、勤王黨の同志への餞に父の首を持參する約束がしてあつた。

さて、となると其處は親子の情愛で鋒先が鈍るのであつた。

兄、六郎とはまるで違つた性格を持つてゐる圭介は、水のやうに冷たい理性と、火のやうな熱い情熱を持つてゐた。

『圭介、待つてくれ、話がある』

刃を抜き放つて、一歩一歩と近づいて來る圭介に、刑部は歎願するやうに、斯う言つた。

『刑部の首級でござれば、圭介畏まつて頂戴致す』

『刑部は先日限り御役御免を言ひ渡されたのだ。無役になつたのだ』

刑部の聲は泣くに等しい、嗄律を持つてゐた。

『何と仰しやる、無役』

『うむ、だから俺の首は勤王黨の方々にも不用の物だと思ふ』

とこれだけ言ひ終ると、刑部には骨を抜かれたやうに、折れるやうにその場に坐つて了つた。

父が無役になつた事を聞くと流石に圭介は手を下す氣になれなかつた。

『無役』

斯う圭介は、口の中で何回となく呟いてゐた。

死のやうな沈默が、暫く續いてゐた。

『父上!』

かう靜けさを破つて圭介が、刑部を呼んだ。

『………』

『私と一緒に一先づ邸へ戻りませう』

『うむ』

圭介は刑部の手を取つて、引き起した。

刑部は、無役を言付けられると、今まで張り詰めてゐた氣が緩んだものか、顔には年齢が明確現はれてゐた。

刑部と圭介が、庫から出た時は既に、木々の間に暮色が迫つてゐた。

刑部が先頭に立つて、圭介は一足後から隨いてお濠端を歩いてゐた。

『奸賊刑部、覺悟』

かう言ふ聲が、薄暗の中に亂れたかと思ふと、白刃が刑部を取り圍んだ。

櫻の立木を楯にして、刑部は身構へた。この樣を見た圭介は鬪ひを避けると刑部に近づいた。

『えいッ!』

圭介の口から出た氣合だつた。その時既に、刑部は血に染まつて倒れてゐた。圭介は刑部を斷つたのだつた。

洗舟畫

四月五日　舊三月十一日　水曜　辛丑　先勝　收　軫宿

- 一白の人　目上の心を損せず萬事の指揮を仰ぐが安全　乙と庚と癸が吉
- 二黒の人　何事も苦勞なく安々と運行し願ひの叶ふ日　戊と丑と寅が吉
- 三碧の人　一身上有利に展開し行く日堅實なるが良策　庚と亥と壬が吉
- 四緑の人　交際上圓滿を謀るが上乘次第に發展する日　丙と亥と癸が吉
- 五黄の人　次第に向上發達を來たさんとする日奮勵吉　戊と亥と寅が吉
- 六白の人　外觀を重ずる時は内憂の生じ來る事ある日　申と辛と寅が吉
- 七赤の人　百事澁滯して進展の氣運に乏しき不安の日　庚と酉と寅が吉
- 八白の人　目上の引立てあり意外の出世を見べき吉日　戊と亥と丑が吉
- 九紫の人　骨は折りても次から次と苦勞の起り易き日　丙と亥と癸が吉

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行(毎偶數日午前十時出帆)

船名	出帆日
はるびん丸	四月六日
香港丸	四月八日
うすりい丸	四月十日
ばいかる丸	四月十二日
亞米利加丸	四月十四日
うらる丸	四月十六日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案内所
船車連絡切符(往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月)
大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ヶ月)
●專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社　大連支店　電話四一二三六番
奉天出張所電話四〇六六番
新京出張所電話二三〇二番

東省實業株式會社駐在所

新京日本橋通
(電話二五八五番)(三一三八番)

診療受付　正午より午後三時まで
内科
小兒科
杏林堂醫院
中島信之
電話二五二〇番
内科、小兒科　醫師　堂脇サト子
隨時往診の需に應す

産科
婦人科
堀山醫院
蓬萊町一丁目　電話三一八〇番
入院隨意
日曜、祭日午後休診
免許　天野ヲサエ
狩野善惠
産婆　小野ヒサ子

内科
小兒科
神經科
福島醫院
祝町太子堂前
電話二九五八番
電話ダハ夜十一時ヨリ朝六時マデ御遠慮ヲ願マス

内科　小兒科
性病　痔疾科
アヘン、モヒ
ヘロイン中毒
松本醫院
入院隨意
隨時往診應需
日本橋通郵便局前
電話三七五六番

内科、小兒科、産、婦人科
善生堂醫院
日本橋通
電話三一七二番
入院隨意(日曜祭日午後休診)
免許　茂マキノ
産婆　吉井サミ

齒科
口腔外科
早川醫院
院長　早川武夫
診療時間 {本院(自午前九時至午後五時)　分院(自午後三時至午後八時)}
(日曜祭日午後五時)(日曜祭日休診)

皮膚、泌尿科
外科、性病科
同仁醫院
富士町二　電話二六〇六番
診療(自午前九時至午後五時)日曜祭日午前中

齒科一般
口腔外科
田中醫院
新京吉野町一丁目十四番地
(電話三三四五番)
京城齒科　醫學士　田中勳
診療時間自午前九時至午後六時(日曜祭日午後休診)

醫院名改稱廣告

舊名稱　小澤齒科醫院
此の度都合に依り左記の如く醫院名改稱致しました
新改稱　齒科一般口腔外科　田中醫院
新京吉野町一丁目十四番地(電話三三四五番)
京城齒科　醫學士　田中勳

日本橋詰新京ビル二階一號室
齒科一般
口腔外科
村田醫院
日本齒科醫學士　村田儀平
休診日　毎週月曜日祭日

(姙産婦入院應需)
産婆
派出婦
東京に於て二十年來の体驗既切と丁寧の産婆
日滿家政婦人會
日滿産院
(看護婦家政婦希望者多忙御出下さい)
派出婦最底の料金と身元確實の者御申込次第速次派出致します
内務省免許　産婆　鳥山鶴子
新京祝町九ノ一四番地

和洋酒食料は
是非吉野町
丸徳へ
電話二二三三番

御待チ居マス

水炊・スキ燒・鍋物類
朗なかホールさ
刷新なるサービス孃が
カフエー
ミカサ
電話二四六八番

美人の王國です
是非一度!
御料理
一樂
大馬路
電話三七三〇番

至南嶺　一樂　西三馬路　東三馬路　日本橋

三笠町二丁目
會席
御料理
曾我廼家
電話二五八八番

烹割
うどん、そば
ぜんざいぞうに
藪虎
新京三笠町
電話三四四五

美酒佳肴
長春座裏
會席
御料理
やよい
電話三四九〇番

羽根蒲團の
購買會を初めました
御加入を願ひます
御一報次第同ひ申ます
吉野町二丁目(北滿旅館横)
羽根蒲團
製作販賣
山本商店
電話二一三二一番

店頭裝飾
廣告ヲ兼タ
日除ハ是非當店へ
東京日商會
申込所　楠田鐵工場
新京船入町一丁目三

「建築界ノ第一線ニ進出セル店」
安心シテ信頼シ得ル店
丁寧デ速ク親切ニ施工致シマス
◎特ニ建築ノ無料相談ニ應ジマス
御申込ノ節ハ御一報願ヘバ早速參上致シマス
建築土木ノ請負
施工ノ監督
●設計ノ製圖
●土地ノ測量
設計製圖見習入用　年齢十九才ヨリ廿二三才迄　本人來談午前中
日商
和成公司
新京公學校前
新京室町二丁目九番地
電話三〇六六番

澤庵ノ大賣出

一、正味十七貫入　壹樽金七圓二十錢也
一、正味四貫入　壹樽金二圓七十錢也
當牧場漬ケ込ミノ澤庵モ本當ニ良イ味ガツキマシタカラドシドシ御用命ヲ願ヒマス
景品附ハ不公平ニナリマスカラ取消シマスソレ丈安價ニ致シマシタカラ御諒解ヲ願ヒマス
舊飛行場前
三宅牧場
電話二〇八八番

吉野町二丁目北滿旅館横入
柳屋衣服店
電話三一五二番
内地三大都市流行仕立上り
東京小林甚五郎
大連三島屋
洋服店製品販賣所

建築
機械
電氣
材料商
材
セメント
塗料
陶器　タイル
ショベル
ツルハシ
油マシン
在庫豐富
株式會社
大信洋行支店
新京日本橋通七八
電話(三三)三七〇八

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一個月金八十錢 郵稅一個月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社
發行人 十河集思 編輯人 松本男 印刷人 谷啓二郎

おぢ氣ついた中央軍
全部隊大混亂
一溜もなく擊破され 廿五師唐山に移駐

〔天津二日發國通〕古北口で擊破された中央軍第二十五師は僅かに二三回の戰鬪で戰死者三千餘負傷者師長以下二千五百を出したので全部隊が大混亂に陷り、第一線の密雲に集結陣容建直しをしてゐるが、始めて日軍の强さを知つた將兵はおぢけづいて戰意を失ひ休日を請願するので、何應欽は中央軍保存の爲め同隊を北平に集結し、補充隊を募集の上北寧線保護の爲め、唐山に移駐せしめ何柱國の目付役として出動せしめるだらう

〇〇部隊の主力 なほ居殘る

〔山海關三日發國通〕石門關山海關の直接聯絡の任務を帶び石門より强行軍を敢行せる〇〇部隊は途中敗殘兵に遭遇先頭部隊〇〇名のみ歸還したが、主力部隊が敗殘兵警戒のため〇〇地點に居殘り對峙中

部落民の嘆願を容れ 我軍砲擊せず

〔山海關四日發國通〕敵第二線の砲兵陣地は海陽鎮の西北方一里半王家嶺に設けあること判明した、我〇〇〇の〇〇陣地及び〇〇沖合にある〇〇の砲擊は完全に之を粉碎し得るが附近部落民の嘆願を容れて一發も放たず自重し、引續き敵の行動を監視してゐる

「一歩も退く勿れ」 何、姚東潘に嚴命

〔山海關三日發國通〕何柱國は姚東潘に對し今は躊躇逡巡の時に非ず、一歩も退く勿れ後方の事に就ては別に策ありとの激勵電を發し、一方何應欽に對し一切の狀況を報告し對內的影響の甚大なるを說き武器彈藥の補給を求めた、何應欽も事態重大なるを察知し灤河一帶にある商震軍に對しても出動命令を發し場合によつては自ら灤州に赴き督戰すべき旨の意思を表示したと聞す

支那兵を認めず 山海關、秦皇島間

〔山海關二日發國通〕山海關の前面に據れる騎兵第百三師第四十一團は日本軍の石門界嶺口入りに依り脅威を感じたものか昨夜中に全部撫寧方面に後退今や山海關、秦皇島間には敵兵を認めず

秦皇島では市中警戒

〔山海關二日發國通〕秦皇島には現在第百八師の第六百二十五團があるが右は支那側及び開灤工務局の請願に依り日本守備隊の諒解の下に駐屯し專ら市中の警戒に當つて居る

何應欽の出兵 わか軍では一笑に附す

〔山海關三日發國通〕石門岩事件は少なからず平津及上海方面民衆の空氣を刺激し、抗日反滿の氣勢頓に上つて來つゝあるが、何應欽は商震に對し主力部隊の動員を命じ、右指令に接せる商震は所屬部隊中より步兵、騎兵砲兵をすぐつて之を十八夕列車に分乘せしめ前線に向け出動させたが右は何應欽の自己擁護策に過ぎず我軍では一笑に附してゐる

福州の日貨 荷役罷業悪化

〔基隆二日發國通〕三十一日の日貨荷揚げ人夫罷業に始つた福州に於ける排日は一段と惡化し郵船の出入りに制肘をうけ大阪商船支店では臺灣より荷役苦力や艀人夫呼寄せ準備をなすと共に帝國軍艦の派遣方を請ふ事となつた、右につき基隆の大阪商船支店では萬一の場合を考慮して福州の在留邦人救出しの船舶をさしむけたが、一方基隆香港線の鳳山丸や廣東丸に多數の支那人乘込み居り呼應して下船するの懸念あるので私かに對策を講じてゐる

勞農官憲の英人監禁
英露又斷交か
蘇聯の出様が見もの

〔ロンドン一日發國通〕勞農官憲の英人技師逮捕事件につきデイリー、メール紙所報によれば、英國政府は勞農外交代表マイスキー氏に對し英人技師逮捕の理由につき詳細なる蘇聯政府の說明を求め英國政府の滿足すべき回答なき時は英國政府は蘇聯との外交關係を中絕する旨の容易なるものでないこの極めて强硬な覺書を手交したと解せられてゐる、尚ほ英國政府は英露經濟斷交には只今のところ反對の見解を有するがデイリー、メール紙は蘇國產の木材、石油、ラフ紙には特別稅率を課すべきを主張してゐる

蘇聯政府が 英國の指示を拒絕

〔モスクワ一日發國通〕さきに勞農官憲が英國商事會社ヴイカース社員四名を逮捕し正式裁判に附した件につき在モスクワ英國大使オヴエー氏は本國政府の訓令に基き外務人民委員長リトヴイノフ氏に抗議を發する所あつたが外務人民委員長は英國大使に對し蘇聯はメキシコの如きものにあらず從つて蘇聯領土內に住する外國人が蘇聯の嚴然たる國內法を侵犯した結果これを處罰するは當然……

駐蘇英國大使歸國

〔ロンドン二日發國通〕駐蘇英大使オヴエー氏は二日朝ロンドンに到着した驛頭に外務省要人等の出迎へを受けた大使は其足で直ちにダウニング街の外務省に向つたが、同大使の歸國は表面事務打合せの爲と稱せられて居るが、ヴイカース會社技師逮捕に關し、英國政府は右逮捕された英人技師等の釋放を要求したが、蘇聯は之を一蹴し、四月九日乃至十日より公判に付する旨發表したため、之に對する英國政府の態度に關し打合せの必要上同大使の召還を見たものである事は明白な事實である

英國政府は三日閣議を開き、同大使の報告を參考として本問題に關する英國政府の態度を決定すべき重大閣議を爲す筈だが、今や政治的色彩及英蘇兩國關係に濃厚な暗影を投げかけるに至つた本問題の成行は、各方面より最大の關心を以て注視されて居る

安東稅關 漫々的 能率上らず非難さる

〔安東發〕安東に於ける滿洲國稅關は國內の安定につれて非常に多忙となり、人員を屢々新採用し事務の圓滑と、敏速を圖つて來たが、之等は未だ充分練達されず、連絡の如きは、全く豫想以上の不圓滑さで一般荷主に多大なる影響あり、列車の如き殆んど定刻發車を見たこと無き狀態を繰り返されてゐる。さて非難されてゐる。尚ほ稅關吏の態度に就いても頗る非難の聲が高い。

中銀紙幣發行額

滿洲國中央銀行每週紙幣發行平均額表、自大同二年三月十七日至三月二十三日

發行額	一三九、三九一、一〇七、〇〇
準備額	八〇、四九九、九〇〇、〇一
保證額	五三、七九一、二〇七、四四

特別市指定は原案通り可決
三日の國務院會議

第十四次國務院會議は三日午後二時より國務院會議室で開催、鄭國務總理以下各部總長出席次の議案を審議可決した

一、貨幣法中改正の件 現行貨幣法中規定せらるゝ鑄貨の形狀の一部を改正
一、暫行文官外國旅費規則中改正 旅費支給額につき實狀に適應せる臨機の處置をとる權限を所轄官廳に附與す
一、國都建設計畫法及同施行令
一、特別市指定の件 新京を特別市として指定の件は前回院議に於て研究すべき點ありて研究中なりしが原案通り可決
一、人事任命案二件

英國の北支乘出し 商務擴張に努む

〔天津二日發國通〕河北省政府は南京實業部からの通牒に接したとて省內各縣に左の如く通達を發した

英公使ランプソン氏は本國政府の訓令によりカナダ商務官を天津に移し河北各省の英人商務を把握することになつたと通告し來たよつて右商務官が物品を携えて旅行の場合は特に便宜を與へられたし

右は今日迄北平に駐在してゐた商務官を天津に移し、平津に限られてゐた管轄範圍を河北山西察哈爾、綏遠の河北各省に擴張してカナダの對支貿易大發展を策したもので、之に對し支那側が英人商務官かつて全河北の何處へでも商品を持つて旅行することを許したもので、英國の北支乘出しの第一步と見られてゐる

工事用材料の調節に乘出す
まづ砂の供給から 國都建設局で協定

新京に於ける工事用諸材料は昨年來諸工事の勃興に伴れ材料漸や無統制の關係で暴騰に暴騰を重ね、眞に鰻昇りの觀を呈したが就中砂は前代未聞の高値を唱へ

『自然』其の他の材料も引ずられの形にあつた、之が爲一般需要者は少からず困却したが此の傾向は一時的現象として收まらずに昨今は益々奔騰の氣配がある、斯くては今後の國都建設に一大支障を生ずる懼があり此の儘放置しては自由競爭に依る幾多の弊害が誘出するので國都建設局に於ては之が調節を計ると共に出來得る限り安價に供給し得る樣にと豫定より計畫中であつたが愈々成案を得たので不取敢砂の供給から着手することとなり、先般

『新京』砂供給組合及滿洲土木建築協會の推薦に依り川邊謙司を詮衡指定し、砂の採掘販賣に付令大体左記の要領に依り契約を締結した、需用者は兩者に申込ば便宜求められる購買價格等に不審あらば國都建設局(電四〇〇七)に照會すれば良いと

一、國都建設局は新京砂供給組合及川邊謙司は伊通河砂の採掘を許可するに付組合及川邊は廣く官公用及一般市民の需に應ずること
二、供給者は四月末日迄に三萬立方米內外を更に九年末日迄に六萬立方米以上を搬出すること
三、供給價格は一立方米(〇・一六六三七立坪)に付國幣一圓四十二錢を以て標準とすること
前項の價格は建設局廳舍の西方半粁の地點を中心とした略一粁內外の區域內に於ける置場渡値段とす
四、採取地より直接需要者の希望する場所に運搬する場合及前號指定區域外に運搬する場合の價格に付ては前號の價格を基準として其の價格を定むること
但し建設局に於て其の價格妥當ならずと認め變更を要求したるときは之に應ずること
五、事情により標準價格を增加せんとするときは建設局の承認を受くること
六、砂供給者
蓬萊町二丁目一一番地 川邊謙司
新京砂供給組合 會長 宮町三丁目七番地 田中秀人
組合長 祝町二丁目九番地 谷一二
祝町二七番地 山田武一
東二條通り二七 平谷源吾
東五條通り七番地 池田門三
城內東三道街 蔡曜强
同 相葉照勇
大馬路四九番地 松田彌三郎

新設駐滿海軍部 任命された職員

去る一日附滿洲海軍特設機關を廢止、駐滿洲海軍部を置かれたることは既報の如くであるが左記の通り職員任命が發表された

司令官海軍少將 小林省三郎
參謀長海軍大佐 藤森清一郎
參謀海軍中佐 柴田彌一郎
副官參謀海軍少佐 佐々木高信
機關長海軍機關大佐 德田聰一
主計長海軍主計中佐 足立又彦
部附海軍大佐 伊藤整一
部附海軍中佐 志摩清英
同(哈爾濱駐在)海軍少佐 川畑正英
部附海軍機關中佐 清水奬
臨時海軍防備隊司令(松花江方面)海軍大佐 武田盛治
同附分隊長海軍少佐 松本一郎
同附海軍大尉 岩上次一
同附海軍大尉 小倉正身
同機關長海軍機關少佐 石崎寬一
同軍醫長海軍軍醫大尉 守屋一男
同主計長海軍主計大尉 佐藤哲秀

小林少將 執政に挨拶

駐滿洲海軍部司令官小林省三郎少將は四月三日の神武天皇祭の佳節をトし午後一時半警護兵に威容を整へ執政府を訪問執政に對し駐滿海軍部司令官就任の正式挨拶を述べ、次いで、鄭國務總理、張軍政部總長を訪い、同樣正式就任の挨拶を述べた尚鄭國務總理、張軍政部總長は明日答禮のため小林少將を訪問する筈である

ゴム靴の滿洲進出 安東で三社が活躍

〔安東發〕昨今非常な勢を以て流入してゐる、ゴム靴を大々的に滿洲進出を企圖し販路擴張のため平安ゴム、大同ゴムの二社は販賣部を、世昌ゴムは、工場を安東に新設する事になり期待されて居る

農民救濟資金涉 王縣長ら赴奉

〔安東發〕馬匪賊に蹂躪され播種期を控へて種子さへ持たぬ縣下農民の窮狀救濟に關し豫て申請中の資金貸與方交涉の爲め安東縣長王介公氏は黃總務課長を帶同、三十一日夕赴奉した

四平街便り

〔四平街支局發〕鐵路總局經理處長・榮轉の前四洮鐵路局長代表龜岡精二氏は家族帶同一日午後六時五十分發列車で正式赴任の爲め離四した

人事往來

▲橋本少佐(參謀本部附)二日午後四時三十分南行
▲金卓上將(執政府侍從武官長)同上
▲多田少將(軍政部顧問)二日午後七時五十分來京
▲牧野大佐(關東軍司令部附)同上
▲黑田中佐(關東軍司令部附)同上
▲淺田少佐(旅順重砲兵大隊附)三日午後七時五十分來京
▲米々隆矣氏(協和會常任理事)三日午後來京國都ホテルへ
▲鈴木德近氏(大阪人道教團教祖)二日午後來京記念ホテルへ
▲長澤大佐(飛行第〇〇隊長)同上
▲滿川二等主計正(陸軍經理學校)三日午後四時三十分南行
▲小山憲兵中佐(新京憲兵隊長)同上
▲藤本少佐(關東軍參謀)同上
▲喜多大佐(關東軍參謀)同上
▲徐福栄氏(洮遼警備司令部附副官)三日午前八時四十分ハルビンへ
▲李作民氏(北票煤礦營業局副局長)三日午前九時奉天へ
▲兒島少佐(關東軍司令部附)三日正午來京
▲高地憲兵隊小佐(新京憲兵隊司令部附)四日午前八時歸京
▲加納大佐(第十師團參謀長)四日午前八時四十分ハルビンへ

團體

▲大阪……一二十五分四日午前八時……
▲九州帝大生三十五名四日午後一時三十五分來京豫定
▲在鄉將校團(撫順炭鑛從事員)二十名四日午後三時三十五分來京豫定
▲沙河口オーケストラ團一行二十八名三日午前九時南行

天氣と氣象

四日の氣溫最高十度二、最低一度、五日の天氣、南西の風晴後一時曇り

新京財界概況(四)
(昭和八年二月中) 新京商工會議所調査

砂糖、新品も亦特產返りと共に需要沙なき爲め取引閑散を呈し相場小巾の往來に止り新京驛到着數量は七三二キロにして前月より半減、前年同月に比すれば大割四分の減少を呈せり

會社名	商標		上旬	中旬	下旬
日糖	J印	一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
		二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	N印	一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
		二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]

紙類、中旬には特產界の出廻り順調なりしが概して閑散なりし爲め斯界も亦閑散を呈し相場も殆んど保合のまゝ推移せり

品名	單位	一月末	二月末
模造紙	一磅	[illegible]	[illegible]
印刷紙	同	[illegible]	[illegible]
更紙	同	[illegible]	[illegible]
仙鶴連史	一連	[illegible]	[illegible]
有光紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
古新聞紙(和製)	一俵	[illegible]	[illegible]
同(舶來)	同	一一、〇〇	[illegible]

金物、錫類は中旬に特產の返しが……しかし手不振で閑散なり……

品名	單位	一月末	二月末
丸[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
亜鉛引[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

滿洲粟の南下
安奉線を通過して 今迄にない盛況

朝鮮輸入の、滿洲粟は、特定關稅率及び、特定運賃の、廢止によつて、滿洲奧地商人は一齊に、粟南下輸送をばじめたが茲に、安奉線通過の粟は二三日で、三百余車、約千噸の多きに達してゐる。斯くの如き多量輸出(滿洲より)の取扱、驛始まつて以來のレコードで、尚茲數日は現狀を持續し南下するものと見られてる。

支那を國家と認むるは誤り
英人記者門司で語る

〔門司三日發國通〕英國デイリー、テレグラフ紙記者カラント氏は二日朝天津から景山丸で門司に來着したが、船中で左の如く語る リツトン卿と自分とは親友でリ氏は公人の立場から東京を尋ねたが自分は私人として東京を視察する目的で支那だけを見て來た支那の實狀に對して屢々色々な事を聞いたり研究もしたが此れ程ではあるまいと思つたが徒らに物情騷然として、統一した政府及び國家的統制が無い、其の現狀を見るに及んで驚いた次第だ、日支紛爭問題に對しても聯盟が支那を一國家として認める矛盾を痛感した、此れから日本及び滿洲を各六週間宛視察する、從來世界に闡明せる日本の態度及び其の一般の狀は必ずや自分の期待を裏切らないと確信している

經濟欄

海外經濟
▲銀塊及爲替
倫敦銀塊、同遠限、紐育銀塊、孟買銀塊、米英爲替、米日爲替、米支爲替、スタール株、アナンゴダ株 [illegible]

▲綿花 ●米綿 現物、三月限、五月限、七月限、十月限、十二月限、●印綿 [illegible]

各地市場
▲大連上海向 ▲大連對台向 ▲阪神日米爲替 ▲大阪株式 ▲同短期 ▲大連鈔票 ▲阪神日英爲替 ▲上海日本向 ▲上海紐育向 ▲上海倫敦向 ▲上海票金 ▲フレーチ、ベンゴール、オムーラ [illegible]

▲大連株式 ▲大阪三品 ▲大阪期米 ▲仁川期米 ▲横濱生糸 ▲神戸豆粕 ▲大連特產 ▲哈爾濱特產 ▲カルカツタ [illegible]

新京市況
大豆、高粱、小豆、鈔票(現物)、大洋對金票、大洋對鈔票 [illegible]

滿洲國は日にく安樂の途に
發聲映畫を通して世界へ 溥儀執政の挨拶

過般來新興滿洲國の全貌をカメラに收め溥執政、鄭國務總理以下の執務狀態、及談話をトーキーにとり、廣く世界に眞の滿洲國を紹介把握せしめる爲

＝來京＝中であつたアメリカのフォックス映畫會社滿洲特派員は三日午前十一時より執政府で次の如く溥執政の挨拶を發聲映寫に撮つた

余は今回發聲映畫を通じて世界の耳目に向ひ一堂の挨拶を爲す機會を得たる事は幸ひとするものなり、我滿洲民族は博愛の精神を主義とし來り、新國家滿洲國は此の精神の上に

＝樹立＝せられるものなり、余は此の主義精神が人類を災患より免れしめ、且つ世界に於ける種々の偏激の弊害より救ふものなるを深く信ず、我が新國家は成立以來完全に一ケ年を經過せり、而して從來ハ秕政は力めて建設に勵み、物産の發達を謀り全國、民衆をして平等の幸福を享けしめんとし日にく安樂の途に赴きつゝあり、然し其世界各國は我滿洲國の

＝眞相＝に對し今尚知る所甚だ少し我國人は努力邁進、建設の實を謀り以て一般の視聽に自然の推移する處あらんを期す

蒙古王一行執政に面接
全民衆を代表し 喜びの御禮を述ぶ

熱河討匪事業も完成し茲に王道の光りに浴し得るに至つた蒙古各旗代表巴林右旗札■爾親王他八名は滿洲服に身を整へ四日午前十一時三十分執政府に執政を訪問、謁見室に於て執政に面接二十分に亘り蒙古全民衆を代表して王道樂土を見るに至りたる喜びの御禮を述べ、執政に於てもこれに對し將來共に滿洲國の發展に努力せん事を希望され各代表は喜びに滿ちて退出した

麻袋を積み列車顚覆を圖る
容疑者一名逮捕さる

（四平街支局發）二日午後十一時四十五分當驛發の第七十四列車が大連起點九八三キロ（四平街蚯牛哨間）の地點に差掛つた際軌道の兩側に數十俵の麻袋が散亂して居るを乘務車掌が發見し列車が蚯牛哨驛通過の時通信筒を投下し其旨を四平街驛に急報したので三日午前一時守備兵五名警官二名驛員四名はモーターカーに便乘し現場に急行したるも何物も其の地點に見當らず附近一帶を限なく捜査した處現場を去る東方約五十米の箇所に麻袋二十六俵を積重ねあるを發見し附近を潛行警戒中擧動不審なる二名の鮮人を容疑者として逮捕十時七時四平街驛に引揚げ目下憲兵隊に於て嚴重取調中である

棉花工場の大火

（鄭州一日發國通）本日午前九時二十分第一綿花壓搾工場より出火したが、非常門正門とも開かず僅かに通用門が半分開いただけの爲、煙に捲かれて逃まごふ工人を出しあたかも生地獄の如く、死者六十六人を出した、傷者は夥しき數に達するものと見られる

市中商店でやすい品もの
關東廳調査課發表

市中商店の小賣値段が市場及組合の小賣値段に比し安きものを掲ぐれば次の如し、但し品質必ずしも同一ならざるものあるべきを考慮せられたし（昭和八年三月十五日現在）

▲括弧內は市中値段

△大連關東廳職員購買組合煙草（ウエストミンスター）一個五〇（四五錢）

△遞信職員購買組合椎茸十匁一八（一五）

△滿鐵社員消費組合鷄卵十個三二（三〇）煙草（ウエストミンスター）一個五〇（四五）

△市場 麥粉白匁七（六）椎茸十匁一六（一五）干瓢百匁四〇（三五）味噌（滿洲物）同七（六）白砂糖百六十匁九（八）角砂糖 封度二二（二一）煎子百匁三五（三〇）出し昆布百匁四〇（三〇）

△旅順關東廳職員新市街高價品なし購買組合舊市街高價品なし

△營口關東廳職員購買組合椎茸十匁二四（二〇）

滿鐵社員消費組合鷄卵十個四〇（三五）馬鈴薯百匁六（四）木炭一俵二、二〇（二、一〇）毛糸（ビーハイブ印）一封度三、二八（三、一〇）

△撫順警察署職員購買組合綿ねる一尺一三（一二）

滿鐵社員消費組合玉葱百匁一〇（九）木炭一俵二、二〇（二、〇〇）蒲團綿一貫三、八三（三、八〇）

△奉天警察署職員購買組合高價品なし

滿鐵社員消費組合茶（川柳）百六十匁四六（四〇）もすりん一尺二九（二八）木綿縫糸一綛八（七）毛糸ビーハイブ印一封度三、三三（三、二〇）

△四平街滿鐵社員消費組合牛肉百匁二四（二二）木炭一俵二、〇七（二、〇〇）

△新京警察署職員購買組合清酒（菊正宗）一升（壜詰）三、一〇（三、〇〇）

郵便局職員購買組合玉葱百匁一〇（八）茶（川柳）百六十匁六〇（五〇）

滿鐵社員消費組合鷄卵十個五〇（四〇）煙草（ウエストミンスター）一個三五（三三）

△安東滿鐵社員消費組合鱖鮭（新卷）百匁二一（二〇）石油蝙蝠印一罐九、〇七（四、一〇）木炭一俵二、一七（一、七〇）木綿縫糸一綛八（七）毛糸（ビーハイブ印）一封度三、三〇（三、〇〇）

公園、廣場、街路の名稱が決まる
こゝにも建國の理想を表現 國都建設局の苦心

國都建設の事業執行上豫め公園、廣場及街路の名稱を決定して置く必要があり工事も愈々逼迫したので國都建設局は先般政府各部局に對し其の稱呼の推薦方を依賴した處五百有餘の候補名稱を得た、隨は之等のものを參考として更に次の樣な方針で最後の案を決定し國務總理に申請中の處右は三月三十日附國務院指令第六號を以て決裁され愈々正式決定を見るに至つた。即ち

選衡方針としては

一、建國の理想を表現するものを採用すること
二、國內各地の名稱中含蓄餘韻あるものを採用すること
三、建設計畫區域內の村落名中適當なるものは因緣を考慮して可成該地點の街路名に保留採用すること
一、音調宜しく記憶し易きものを採用すること
一、音律又は類似し間違易きものは何れか一方を採用せざること

等の注意を以て次の通り決定したのであるが、街路方向の一般觀念を示す爲南北の街路を「街」とし東西の街路を「路」とし、內幅員三十八米以上の街路には各々「大」を附すること、し、補助街路は最寄の街路名を採用して之を「胡同」と稱することゝなつた、尙未決定の街路名（主として第一期國都建設五ケ年計畫後に必要なるもの）の選衡は必要に應じ順次決定することゝなつて居る

一、公園名
白山公園、大同公園、牡丹公園、順天公園 黃龍公園

一、廣場名
大同廣場、順天廣場、安民廣場

一、大街名
大同、東萬壽、西萬壽、承德、長春、順天

一、大路名
興安、興仁、至聖、安民、盛京、龍江、吉林、民康

一、街名
勸運、安達、昌平、興亞、卿雲、康平、永安、建和、太和、清明、百濡、立信、同治、長慶、五色、龍門、虎林、天資、治平、萬寶、門元、春光、□雲、長安、塞化、興隆、和平、春明、明水、西萬壽、乾明、永平、昂溪、賽馬、大順、豐平、顯德、永樂、泰□、西豐、西安、建平、彰武、天福、寶止、光明、錦西、明昌、泰來、開運、通遼

一、路名
新發、北安、崇智、豐樂、熙光、天安、咸陽、錦水、建國、百草、朝陽、柳條、太平、天農、德惠、天壽、慈光、順治、大興、永昌、義和、明德、同光、隆禮、寶清、東□、臺、神泉、富錦、德昌、鏡泊、隆安、清福、呼倫、廣昌、綏中、永興、景耀、成進、慶福、撫松、興化、東光、平泉

△△△△△ 飛んだ貯金 大事の四百圓
郵便局で掏られる

新京郵便局の窓口には最近非常な混雜を見せてゐるが、この雜沓中にスリ團が潛入して客の懷中を物色してゐるため、窓口に御用の方は特に注意が必要である、去る二十七日午前十一時五十分頃市內日本橋通十六番地西正二郞（三二）が現金四百七圓を貯金すべく封筒に入れ右のポケットに入れてゐるを何者かにスリ取られ直に新京署に屆出た

日滿合作 新劇
出し物も役者も一般で募集

滿洲國政府の日本東北賑災委員會では本月末の義捐募集締切を日曜に控へ、同委員會幹部主催の下に新京戲院で日滿提携合作になる新劇を行ひ、その得た入場料を東北義捐にあてる事に決定、目下日取、出し物役者等諸般の準備に忙殺されてゐるが出し物は廣く日滿官民より募り脚本等を入れ、役者も同樣一般より募集する事となつてゐる

勇士の英靈
花の故國へ

（大連四日發國通）熱河征戰に護國の鬼と化した步兵特務曹長別府司氏以下廿三勇士の英靈は小澤曹長他四名の戰友に護られ埠頭ベランダを埋めつくす一萬余の市民の歡送を受け、本日出帆の「うらる」丸で花の故鄕に向け悲しき凱旋の途に就いた、尙汽船で熱河の人柱となつた關東軍囑託石本權四郞氏の遺骨も令兄鑽太郞氏に抱かれ鄕里土佐に向つた

出船入船のトツプ切らる
鴨江の船足漸く繁し

（安東發）春氣分濃くなると共に鴨綠江も解氷し帆船の出入も繁くならんとしてゐるが、三十一日午後零時先づ最初の蒸汽船が大東溝から、舊市街に入り八年の入港船舶のトツプを切つた

各種騷音の作業に及ぼす影響
物理學界の研究發表

（仙臺三日發國通）日本數學物理學會年會は二日午前九時より東北帝大で

＝開催＝されたが、會場では物理、數學、天文學の講演が行はれ種々注目すべき研究發表講演があつた、中にも東京帝大航空研究所の小幡重一教授他三氏から「種々なる騷音の作業能率に及ぼす影響に就いて」と云ふ研究は共同研究者守田榮氏に依つて實驗された小學校四、五年生男十數名青年數名を被實驗者として同樣音樂、ジャズ等を使用して作業能率に關する研究の結果東京の小學校兒童は機關車等の騷音に馴れて居るため大した低下は無いが、田舍の兒童は甚だしく能率の低下を觀、又事務所等に於いては個人的な音樂は階調音の多いジャズ音樂等を聽いても能率の低下は無い、却つて上昇する場合もある、と各方面から研究した結果を發表したほか、興味ある各種研究の發表があつた、尙同會議は四日迄繼續されるが、三日は午前午後に亘り引續き研究發表が行はれ終つて午後五時半から

＝海嘯＝に關する斯界權威者の座談會が開かれ、四日午前七時仙臺發で會員の一部が今回の三陸水災地の視察を行ひ、殘部員は午前九時から物理學部會を開いて會議を終る事になつて居る

アクロン號墜落
世界最大の飛行船

（ニユーヨーク三日發國通）アメリカノ世界最大怪飛行船アクロン號は三日ニユージャージー市海軍根據地において航空中突如故障を起し海上に墜落した、乘組員七十七名中數名は附近航空中のドイツ汽船に救助作業を繼續中

在鄕軍人らの政治團体生る
けふ東京で結盟式

（東京四日發國通）全國幾萬の在鄕軍人と農民組合を糾合し、陸海豫後備將官が首腦部として活躍する政治團體好同會が新に生れた此の好同會は昨秋から等々力中將を副總裁とし、準備を急いで居たが、愈々北海道から九州、四國、沖繩、等各地に支部が設置されたので五日午前十時から赤坂三會堂で結盟式を行ふ事になつた、同會の組織は主腦部は將官、中幹部は佐官で會員は在鄕軍人、右翼農村組合員等で既に在鄕軍人、農村組合員三萬が加入して居る、結盟式後は既成政黨の積弊を打破し、公明なる政治の確立を期し、資本主義打倒軍縮を充實し、以て國防の完備を期す等の目的に猛進する筈である

新京商業生 母國見學
第一信

□……商業學校入學以來四年間、待ちに待ち希望に胸を湧き立たせて居た母國見學の日は遂にしのびよつた、來て見ればあまり早過ぎてあつけない樣な氣がするがそれでも驛頭に整列して色々な注意を受け、又親戚、知人、親兄弟の和やかな見送りを受ける時には痛切に旅行に行くのであるといふ事を感じ、只わけもなく嬉しさが腹の底からしみ上げてきてはぎたくなつて來る

□……九時列車は六十餘の小さな魂々乘せて滿洲の平野を東南へくと突き進む、外套は脫がれ靴は草駄に穿きかへられ、室內には忽ち合唱が起る、黃色い枯草と赤は窓外の景色は殆んど變化しない、十幾つの隧道に出遇ひ奇聲は列車を搖り動かす珍らしく山がふへて來た、宮の原では急行列車を待ち秋木莊では殉職せられた驛長及驛員の方の英靈に衷心より哀悼の意と敬意を表はして列車は四時三十五分安東に着いた

□……箱根の關所より嚴重な稅關吏も純なる我等にはやさしい小父さんである、安東を過ぎれば早や大時過ぎ東洋一の鴨綠江の大鐵橋も眼の前、閉いた我々には左程の興味も起させない、驛辨を食べ終つて窓外を見渡せばこゝは早や日本の土地である、白衣の同胞と藁ふきの家、それにひよろ長い松の木と一面の水田、それは滿洲に見られぬ一風變つた風景である、朝鮮らしい名前の小さな驛を五つ六つ過ぎれば日は早や西山に沒して窓外は眞の闇、そろく疲れが出て來て處々二人三人或ひは高からかに或はひそくと談笑するものがあるのみ

□……後後十一時四十五分平壤を通過し早朝七時長蛇は朝鮮の都の京城に滑り込む、滿洲國の首都新京より朝鮮の中心地京城へ!!南大門通を行けば直ぐ旅館につく鐵道部の加納氏と京城商業教諭の矢田部氏の案內のもとに疲れを憩ふひまもなく、曾ては晩將秀吉の肱股の忠臣鬼とよばれ加藤淸正及小西行長の攻めた金甕輪ヶ陂に日の本の威光を輝かせて威風堂々と入城した南大門を過ぎ時代劇に出て來さうな小路を曲つて四百十五の石の階を登り官幣大社朝鮮神宮に參拜し、科學館と伊藤公の菩提をとむらつた博文寺に詣でる

□……東大門に於て昌慶苑の植物園動物園及宮殿を見學したそれから借切電車で景福宮に行き博物館と總督府を見た、勤政殿思政殿等の保護建造物の數々を見ては數百年のその昔金繡玉羅の害衣に大韓の役人達や王孫の逍遙された事も思ひ出されて何んとなくなつかしい氣がした、特に慶會樓の橋を渡つた時曾ては王侯の影をうつした池の水は今もなほ綠漣を立て我々の影を浮べる、そこには五百年以上の隔りはあるけれども心は自ら通じて感慨にたへず石疊の上を低徊して去り難い感に打たれた

□……總督府に於てはその豪洒な建築美と敷きつめた大理石と美しさに打たれ、夜は本町に日線の美少年多きを嘆く明朝は出發なり、一同九時半迄に歸館し圓かなる夢路に入らんとす、その夢や何、朝鮮美人か父母兄弟か將又まだ見ぬ祖國日本の美しき山川の姿か（和田記）

驚異の性能を有す 獨新戰鬪艦進水

（ベルリン一日發國通）ウイルヘルムスハーフエン造船所で獨乙の陸海軍將星數千名の國粹社會黨員並びに研究團員の列席裡に盛大な獨乙の第二豆戰鬪艦エルザツクロートリンゲンの進水式が擧行された同艦は獨乙がヴエルサイユ條約で一萬噸以上の軍艦建造を禁止されたため最新科學を應用して設計した世界海軍界新脅威のもので、基準排水量一萬噸、で然も左の如き性能を有するものである

砲十一吋砲六門、六吋砲八門四吋砲四門、水雷發射管六個速力二十六ノツト航續力一萬哩である

吉凶禍福

△新京曙町一ノ二村本重信氏次女節子二十五日出生

△新京羽衣町三丁目二〇ノ四西田米吉氏四女妙子、二十一日午後十二時出生

△新京常盤町一丁目一二上原種虎氏長女道子二十六日午後九時出生

△新京ヤマトホテル內、桑原京子、三十一日午前四時四十六分死去

△新京露月町三丁目五九ノ四川尻義信、三十日午前十二時死去

「與勘兵衛」
けふから開業

新京において最も氣の利いたおでんやとして今度、大和通五十番地に「與勘兵衛」といふのが生れた、一品料理その他も扱ふはずでぜひ新京市民の味覺を滿足させやうといふので大馬力である今五日からいよく正式に開業するさうた

素晴しい人氣
天勝孃一行大魔奇術 いよく今夜限り

すばらしい人氣をよんだ天勝藤村梧朗明石須磨子の一行は四日夜から長春座に開演、春宵にふさはしい催しに家族づれの入場者夥しく忽ちに滿員の盛況を呈したが天勝の魔奇術藤村の漫唱娘子軍の淚の渡り鳥藤村明石のチャプリンの街の灯等と、非常な大喝采を受けるは必定殊に藤村の漫は例によつてアンコールを浴びることもくりかへされることであらう、最初は四五の兩夜のみ開演の都合であつたが、混雜を調節するため並に膨脹した現在の新京は市場地が遠くに住む人も相當多く夜間外出の不便などを考慮し五日は特に晝間正午から開演せしめることにした上、尙夜間同樣の料金で觀覽出來るやう讀者優待割引券を本紙に添付したから利用を希ふ五日夜は午後五時半開場六時開演となつてゐる

滿洲で出來る茸人工栽培法(上)

……YGK……

都會及び農村に唯一の副業食用茸の栽培は文明した今日では實に有望なものです。食用の種類は御松茸、せら茸、なめこ、なめ茸椎茸等ありますが先に松茸に付いて簡單ながら讀者諸彦に供しようと思ふ

松茸は昔より肉類以上の高貴な食料品としておりました事は事實である、如此な商品を年中栽培して販賣したら肉類にも比べ數十倍以上の高價實出す事は當然な事である、されば出發點に於て不都合のある時には良結果を得る事能はざるものである、茲に筆者の實行して居る方法を記述しようと思ふ

×

如此な立派な事業を米國等の地で到底、珠盤がたたないのはどんな譯かと云ふと、米國では自動車を多數使用するようになつたから馬は澤山使用しなくなり原料と同様な馬糞が少くないから日本ではそれを利用して軍隊の馬糞を大いに利用して米國に輸出するのだ

松茸栽培は佛國で發明して以來今日では世界で培養しないにはほとんどないほどある、日本では十數年以前から松茸の人工栽培が始つてから、農林省で奬勵に依り今日では大いに發達して年七百萬圓の輸出品を出すが滿洲では未だ松茸の人工栽培は否認するものもあり、又新聞や雜誌等の廣告を見て一時的の心で栽培して見たが失敗したので山師に掛つたなど云ふ形勢である

×

然れば何事も體驗及其妙理を解得しなかつたらいくら安い事業でも雖事と少しも變りありません、又常になれた仕事でも不注意によつて失敗する事が有ります

×

副業でも色々あつて養蠶、養鷄、養豚、養蜂等が、あるが此等の副業は相當な資本と勞力がいるし、又金かと勞力があつても場所が不適當で實行不可能の場合があるが、此松茸栽培は多大な資本や莫大な勞力か必要でなり、一回下種したら三四十日間で發生するまでは別に勞力がいらぬものであります

收入及支出

收入としては一坪一回栽培して完全に極上等の品を四貫位取れるが少くても三貫として價格は百匁に對し(いくら安くても九十錢は卸値でも出來るが)七十錢と見積つてする一坪の收入だけでも二十一圓と云ふ金が取れるはずです、支拂としては種菌約一坪分三圓と四十錢位の馬糞代を要するだけである

御婦人の趣味的な内職として最適理由

栽培法は極く簡單で又廣場又は日光の必要がないから家の隅や床下や其他不用地を利用して箱の中で栽培が出來るから婦人の内職としては勿論男女學生の學校歸りのひまや社員官吏及び老人に至る迄容易に栽培が出來るから共通的趣味な副業であるし、又一回播種したら松タケが發生し始めると三ヶ月間は何等の仕事も無く採取のみですから、松茸が一面に生えて成長するのは實に趣味百%です、但箱はビール箱にてもよい

關東軍施療班の仁慈の手延ぶ

北票にて 關覺藏

事變發生以來外部との交通杜絶してゐた神秘境、熱河の住民に日本軍の仁慈の手は矢つぎ早にさし伸べられた、名醫なく良藥なく病に苦しむ住民はどれ程、皇軍施療班の活動に感謝したか、左に掲ぐる關東軍施療班長關覺藏氏の手記は其の喜びを如實に物語つてゐる

第一報

三月十日午前八時五十分、我等一行十三名は關東軍施療班として熱河に向ふべく、第一班第二班共全員勇躍奉天を出發した、車中今後の行動に關し打合せをなし、廣漠たる荒野を車窓に眺めながら一路錦州へ—同日午後三時錦州驛に下車するや兵站部員、其他の熱誠溢れる歡迎を受け、今更乍ら我等一行の責任重大なるを知り身の引き締るを覺ゆそれより兵站部に至り訓示を受け同夜は同地に一泊、翌十一日一行は北票に向ふ途中凌河にて故板倉少佐の標識も新らしき墓前に全員起立脱帽、車より護國の鬼化した故少佐の冥福を禱り、當時を回想して拳もて目頭を拭く車中大半を占むる陽に燒けて色淺黒く髯の伸び放題な軍人、軍屬中に紅一點、定國軍將校として婦人の身を持ち乍ら熱河に活躍せる男裝の麗人、川島芳子嬢を發見す、同嬢は三軍を叱咤するの氣慨には聊か缺けたる所あるも、軍服に身を固め黑の長靴に金色の拍車と云ふいでたちは昔日の粟津ヶ原の巴の鎧姿もかくありなんと思はれ然もその流暢なる日本語には流石日本育ちだと感服する、列車が南嶺隧道を通過する頃、車中の一老人より同地附近に於ける皇軍の苦戰談を聞き思はず快哉を叫んだ、間もなく北票に到着するや同地兵站支部員の斡旋にて豫定の宿舍に入る鈴木班は翌十二日朝陽に向け出發、互にその成功を祈り暫しの名殘を惜しみて袂を分つ、我班は直ちに當地に於ける診療開始の準備に着手す

北票は石炭の產地として名を知られ、東北方に流れる小丘に採炭所が見られる、同採炭所は英人の設計に成り民國八年より經營され、多き時は一日約二千噸を採炭する、同所は恰も日本の刑務所の如く高き塀を廻らし、尚其の上には鐵條網を張り常に電流を通じて石炭の盜難を防ぎ、塀内には採炭所事務所、宿舍病院、圖書館等があり、坑内から湧出する水を利用して池、小川をつくり花を植へ溫室を設くる等春夏の樂天地となし、其他運動萬般の設備あり、坑夫の宿舍も混浴場、給水場、敎會堂、集會所、小公園等が設けられ、流石は英人の設計、考案によるものと感心させられる、我施療班は最初採炭所病院にて診療開始の豫定なりしも、民家と離れ不便なる爲市内の衞生事務所を借り受け十三日より二十一日まで九日間診療を行ふ、此の間診療を受けた者一千餘名に上り一日平均百名以上の患者を取扱ひ多忙を極みた、これ等患者は消化器病者最も多く、次は呼吸器系統、皮梅科、眼、中毒者と云ふ順序である

彼等は我施療班の開設を傳へ聞いて遠く數十里の村落より來るものもあり、產後の疫病者或いは老人等歩行困難なものには往診を爲し出來得るだけの施療を爲す、之等患者は云ふまでもなく一般民衆はこれが爲喜びの涙を流し、中にも快癒せるものは合掌して我等に感謝の意を表し來る、當地に於ける衞生、醫療機關としては炭坑病院(目下休業中)の外市内に三四ヶ所の漢方醫あるのみにて、最も奇怪に思つたことは數軒の皮下注射專門業者ありて、一回九錢位にてモヒの皮下注射を行ひ居る事である、尚此の外に顏面、四脚に疱痕を有するもの相當見受けられるが、これは炭坑内のガス爆發の際負傷せるものと聞く、當地に於ける官公署としては日本側の北票警備司令部、憲兵隊、郵便局、電信取扱所、滿洲國側の奉山鐵路準備處、炭坑公司、公安局商務會、商埠警察處あり、旅館は我施療班著票の翌日初めて北票ホテル、平和館の二軒が許可開業し、十五日より日鮮料理店四五軒開業せり、何れも連日連夜大入滿員札止めの盛況である、在票中滿洲國々務院北票辦事處主任齋藤茂氏關東軍宣撫員松村銀藏氏より多大の後援を受く、松村氏は最近當地に日本語小學校を開設、既に生徒四十名を數有中との由であるが之等の企ては日滿兩國の爲め益する所甚大なるものと深く同氏の努力には感服させられた、我施療班はこれより第二の目的地建平方面に向ふ豫定である

ホームラン 王助・ボン助 (十)

ヤベトヨソウ

1 マタ チカメノ ジイサンカ ヒヨコヒヨコ アルイテ キマシタ。

2 ヂイサンハ ムシメガネヲ ダシテ ナニガ カイテアルノヂャナ。

3 ヨシヨシ コノオトコニ ミツヲ ブッカケレバ イイノヂャナ。

4 アッ コリャイカン バケツゴト トンデシマッタ サアタイヘン。

清酒月ヶ瀬 金牌を受く

清酒月ヶ瀬の釀造元大連市若狹町森川商店では本年度の釀造成績殊の外よく今度關東州清酒品評會で優等賞金牌受領の榮譽を荷つた

ケンブリッヂー勝つ

【ロンドン一日發國通】英國スポーツ界の年中行事たるケンブリッヂ・オックスフォード兩大學對校第八十五回ボートレースは一日午後テームス河上プットニー・モートレイク區間四哩四分の一コースで舉行されたが結局ケンブリッヂの勝に歸し、斯くてケンブリッヂは十年連勝と云ふ兩校レース始つて以來の新記録を樹立した、これを以つて兩校の成績は

ケンブリッヂ 四十四勝

オックスフォード 四十勝

無勝負 一度

日本學界大會へ 徐氏出席

【奉天三日發國通】八日東京で開かれる日本學界第四回大會に出席する奉天省公署、實業廳長徐召卿氏は三日午後二時四十分奉天發朝鮮經由上京することゝなつた

全國神職會 日比谷で旗祭

【東京三日發國通】全國神職會では神武天皇祭の三日、日比谷の新音樂堂で午後一時から旗祭りを舉行聯盟脱退報告並びに國威宣揚紀念の祭事を行ひ、聖壽の萬歳を三唱、市民有志から一升づゝ集めて神前に供へた百石近い米は市内の細民に配給された

千葉修一商店の雄飛

同店主千葉修一氏は和歌山の出身にて郷里商業を卒へて來滿、特産物界に投じて以來、十有數年の奮闘史を有し、以て今日の大をなしたり、昨年現在中央通の大家屋を新築、特産物の外に、國都ホテルを經營し、祝町舊家屋を精米部に改變せり

生來商機を見ひに敏なる日本は、滿洲事件を楔機として新京の將來に着眼し、各種商品の販賣を企圖し新に輸入部を開設、サクラビール會社、及岡谷合資會社と代理店を契約して土建界雄飛の第一歩を占めたりと雖も、新京實業界の健實なる發展を希ひ、內滿間の眞の仲介者としての眞面目なる取引の圓滑を庶幾する特產界知名の士なり元より奮闘努力主義の日本は、內地各方面の製造家商店より各種の依頼を受け、實績の確保に向ひつゝあれば、滿各地の連絡網即販賣網を利用すべき有利なる立場に在る同店として發展亦活目すべく、新京實業界の發展向上に資する處亦多しと云ふべし

殉職警察官義捐金

五圓	新京日本佛教團	氏
一圓	三笠町一丁目	榎田タ子氏
五圓	八島通	石崎廣次郎氏
一圓	地方事務所	伊東權吉氏
一圓	同	富岡正次郎氏
五十錢	同	鈴木忠一郎氏
五十錢	同	藤井總氏
一圓	同	蛸井之義氏
五十錢	同	大島庚子郎氏
一圓	同	三浦一義氏
一圓	同	島部竹一氏
五十錢	同	赤津新治氏
五十錢	同	松田武彦氏

小計金十八圓也

累計金六百〇七圓九十錢

(前回累計六百八十九圓九十錢とせしは誤記なり)

二圓	經濟調査會	宮崎正義氏
五十錢	同	松富保明氏
一圓	地方事務所	萩原準氏
五十錢	同	紅谷武一氏
五十錢	同	辛島文雄氏
五十錢	同	吉村治雄氏
五十錢	同	兒玉武夫氏
五十錢	同	小倉直久氏
五十錢	同	津村德太郎氏
一圓	同	伴在章治氏
五十錢	同	北野安太郎氏

小計金八圓也

累計金六百十五圓九十錢也

公告訂正 四月一日附范家屯電氣株式會社解散公告の昭和八年四月十一日とあるは四月一日の誤りにつき訂正

公告

當會社ハ昭和八年三月三十一日株主總會ノ決議ニ因リ解散致候ニ付キ當會社ニ對シ債權ヲ有セラルヽ方ハ昭和八年五月三十一日迄ニ其債權ノ御申出有之度若シ期間内ニ御申出無之トキハ除斥可致候 商法ノ規定ニ據リ此段公告候也

昭和八年四月一日

范家屯電氣株式

清算人 原口純允

王襄臣

戀幻黑船往來

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第五十回

濱千鳥（三）

『おゝ、あれは？……』

白軒は逸早くその微な足音をきいてぎよつとして、抱き締てゐるフラメの上半身から手を解いた。

フラメは笑つた。

『なアニ、親方たよ。しんぱいすることないてば……さア和人、酒注いてくれたしやれや』

『しかし、親方にしてもこの態を見られては……』

『オアホ……このふとは……』

フラメは、さらに憫然にふるへながら白軒の胸に上半身を投げかけようとした途端、蘆戸の据がまくられ、沖の紺碧の海が現れた。

『誰たい』

フラメは、足音の數をきくと、いきなり白軒を後にかばつて、鋭く無禮な來訪者へ聲をかけた。

『御免！』

のつそり入つて來た二人連は、道中合羽に深編笠義經袴を裾短にはき、足がためも厳重な旅侍だち。

先頭の一人は編笠の紐を解いてぬつと突き出したのは、總髪大たぶさの細面、北方探檢家の磯貝武七郎である。

あとにつゞくは、その同伴若い夏川左京であるのはいふまでもない。

武七郎の柔和な眼は、フラメの背後に小さくなつてゐる白軒に注がれた。

『少々物を尋ねる』

『はい』

たはれ女のフラメは、案外素直だつた。

『さいぜん、この邊りに、舟子體の貧しい和人がまぎれ込まんだかな』

『そんなふいと見ません』

『高島よりあとをつけてまゐつたが、たしかにこの村に入つた形跡がある。隱し立てするとためにならんぞ！』

背後で若い夏川左京が、とげとげしくいつた。

『オッホヽヽ。和人しや何いふかねえ。ニゴリナイの夷人漁村にそんな和人がゐたらおかしなものたべ』

素直に迎へたフラメは、しだいに態度をあらため、不敵にかまへる。

『うむ、よくぞぬかしたな、そのうぬの背後にかくれてゐるのは、何者だ！』

左京は、二三歩、土間を進み寄つた。

『この、鍛冶小屋の若い衆たよ』

『たつた今、召抱へた若い衆であらう。われ等へ渡すがよい』

『いやた！』

フラメは、近寄つた左京の前に横坐りのまゝ大手を廣げた。それには眼もくれず、左京は

『こりや、そこにゐる舟子の佐太郎とやら。これへ出ろ！出て何とかわれ等に挨拶をするがよい』

呼びかけられて白軒の佐太郎は、フラメの背後に小さくなつて隱れ俯伏してゐた顔を上げた。

『わたくし奴は佐太郎と申す舟子ではござりませぬ』

じいッと二人の旅侍を見上げた。

『佐太郎ではないが、松井白軒だといふのか』

『いや』

ぎよつとしたが、すぐに冷徹な體にかへり、平靜を裝ぶた。

『いやとは、魚盜しらを切るつもりだな……が、それは徒勞ちや』

武七郎は、おだやかな調子で抑へた。

『然し、松井白軒など、左樣な……』

『默れ！その白痘痕の學者面が何よりの證據、高島からわれら兩人があとをつけて參つたのぢや。これより同道高島へ參られい！』